レーザプリンタ

MultiWriter 5400N

ユーザーズマニュアル

893-810127-001-A
初版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠ 警告	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**火傷**を負うおそれがあることを示します。		**破裂**するおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		**レーザー光による失明**のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。		**感電**のおそれがあることを示します。

行為の禁止　行為の禁止は「⦸」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。**発火**するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。**感電や発火**のおそれがあります。		

行為の強制 行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。		アース線を接続してください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴは日本電気株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe ReaderおよびAcrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

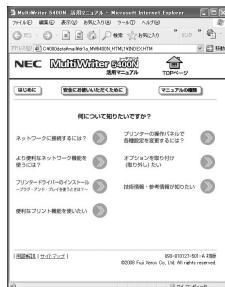
このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。

Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Home Basic operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Ultimate operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版およびMicrosoft Windows XP Professional operating system 日本語版、またはMicrosoft Windows XP Professional x64 Edition operating system 日本語版の略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating system 日本語版の略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating system 日本語版の略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating system 日本語版の略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating system 日本語版の略です。Windows Server 2008は、Microsoft Windows Server 2008 operating system, Standard 日本語版、Windows Server 2008 operating system, Enterprise 日本語版の略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard Edition 日本語版およびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Edition 日本語版、またはMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard x64 Edition日本語版およびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise x64 Edition日本語版の略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating system 日本語版およびMicrosoft Windows 2000 Server operating system 日本語版の略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating system 日本語版の略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating system 日本語版の略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0 日本語版およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0 日本語版の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Edition 日本語版の略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0 日本語版の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51 日本語版およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51 日本語版の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1 日本語版の略です。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 5400N本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル（本書）」と電子マニュアルの「活用マニュアル（添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録）」があります。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。

MultiWriter 5400N　ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

MultiWriter 5400N　活用マニュアル（電子マニュアル）（プリンターソフトウエアCD-ROMに収録）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルは、HTML形式を採用しているので汎用のブラウザー（Microsoft Internet Explorer 5.0以上を推奨）で閲覧することができます。

また、一部のページは項目別にPDF形式のファイル＊1 で作成されています。PDF形式採用のページは、必要に応じて読みたい項目をA4サイズの用紙に印刷してご覧いただくのに適しています。

活用マニュアルの記載内容については「活用マニュアルの内容」（viiページ）、開き方については「「活用マニュアル」（電子マニュアル）を見るには」（viiページ）をご覧ください。

＊1　PDF形式のファイルを参照または印刷するには、Adobe社のAdobe ReaderまたはAcrobat Reader（バージョン5以降の日本語版を推奨）をご使用ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルを目的に応じてお使いいただけるように、viページに目的別検索ガイドを掲載しています。ぜひ、ご利用ください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

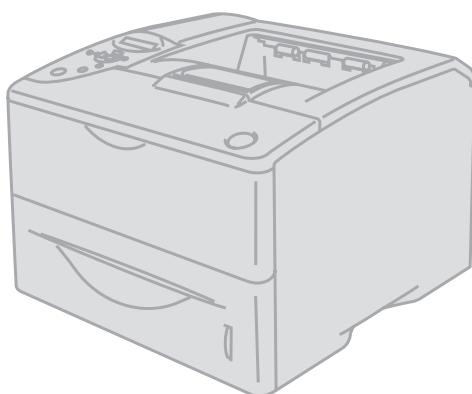
MultiWriter 5400Nは高性能なCPUを採用し、省スペース、スループットの高速化、印刷コストの低減を実現した、レーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

■ 特長

- 最高 24 ページ / 分の印刷速度
  （A4 サイズ片面の場合）
- LAN インターフェース標準装備
- USB 2.0 インターフェース標準装備
- 両面印刷機能を標準装備
- 最大給紙容量 1100 枚（坪量 64g/m^2 の場合）
  ー 手差し：100 枚
  ー 標準ホッパー：500 枚
  ー 増設ホッパー（1 段）：500 枚
- 最高 1500dpi 相当の解像度
- 152MB のメモリーを標準装備
- 省スペース / 省電力

■ MultiWriter 5400NでMOPYINGを・・・

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。

MultiWriter 5400Nに搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がコンピューター上でできます。コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

また､Windows環境でより簡単に､より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア｢PrintAgent＊1｣に対応しています。
PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。｢MOPYING」の詳細については、活用マニュアルの「便利なプリント機能を使いたい」から「手間とコストを削減して印刷する」をご覧ください。

本書をお読みになり、MultiWriter 5400Nを十分にご活用ください。

2008年 12月　初版

＊1　PrintAgent は、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP（64 ビット版）、および Windows Server 2003（64 ビット版）には対応していません。

目次

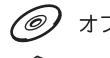
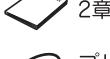
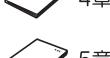
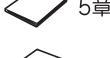
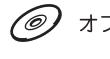
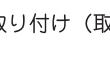
4章　日常の保守 55

5章　故障かな？と思ったら ...65

付録 89

目的別検索ガイド

（マニュアルのアイコン）ユーザーズマニュアルをご覧ください。
（CD-ROMのアイコン）プリンターソフトウエアCD-ROMに収録の活用マニュアルをご覧ください。

目的	参照先
ご使用の前にご覧ください	安全にお使いいただくために
プリンターを設置する	1章　プリンターの設置
コンピューターまたはネットワークに接続する	1章　プリンターの設置
（オプションを使って接続する場合は）	オプションを取り付け（取り外し）たい
ネットワークで使用するための設定をする	1章　プリンターの設置／ネットワークに接続するには／より便利なネットワーク機能を使うには？
プリンターソフトウエアをインストールする	2章　プリンターソフトウエアのインストール
（プラグ・アンド・プレイを使ったインストール方法は）	プリンタードライバーのインストール ～プラグ・アンド・プレイを使うときは？～
使用できる用紙について知りたい	3章　用紙のセット
ディスプレイ・スイッチ・ランプについて知りたい	技術情報・参考情報が知りたい
ご使用のアプリケーションから印刷する	2章　プリンターソフトウエアのインストール
便利な機能を使って印刷する（両面印刷など）	2章　プリンターソフトウエアのインストール／便利なプリント機能を使いたい
メニューモードを使って設定する	プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？
ドラムユニット・トナーカートリッジを交換する	4章　日常の保守
プリンターを清掃する	4章　日常の保守
うまく印刷できないとき	5章　故障かな？と思ったら
紙づまりのとき	5章　故障かな？と思ったら
保守サービスについて知りたい	付録　保守サービスについて
情報サービスについて知りたい	付録　情報サービスについて
オプションについて	オプションを取り付け（取り外し）たい
プリンターの性能について知りたい	付録　仕様／技術情報・参考情報が知りたい
制御コードを使う	技術情報・参考情報が知りたい
印刷範囲を知りたい	技術情報・参考情報が知りたい
文字コード表を見たい	技術情報・参考情報が知りたい
わからない用語がある	用語解説

「活用マニュアル」（電子マニュアル）を見るには

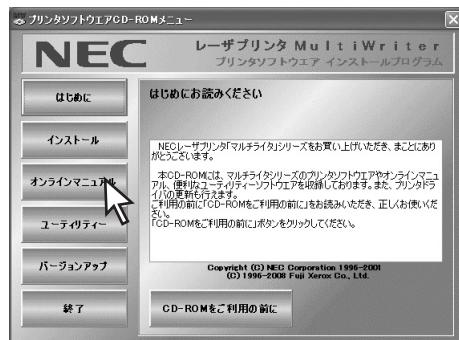
活用マニュアルは、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。HTML形式を採用しているので汎用のブラウザー（Microsoft Internet Explorer 5.0以上を推奨)で閲覧することができます。

また、一部のページは項目別にPDF形式のファイルで作成されています。PDF形式採用のページは、必要に応じて読みたい項目をA4サイズの用紙に印刷してご覧いただくのに適しています。(PDF形式のファイルを参照または印刷するには、Adobe社のAdobe Reader（日本語版）またはAcrobat Reader（日本語版）をご使用ください。)

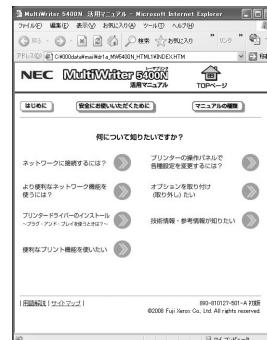
❶ **お使いのOS（日本語版）を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❸ **「プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー」が表示されたら、［オンラインマニュアル］をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❹ **右側のボックスの［MultiWriter 5400N活用マニュアル］を選び、［オンラインマニュアルを読む］をクリックする。**

ブラウザーが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。

活用マニュアルの内容

活用マニュアルには次の内容が記載されています。トップページから、読みたい内容をクリックするとステップまたはメニューが表示されます。

ネットワークに接続するには？

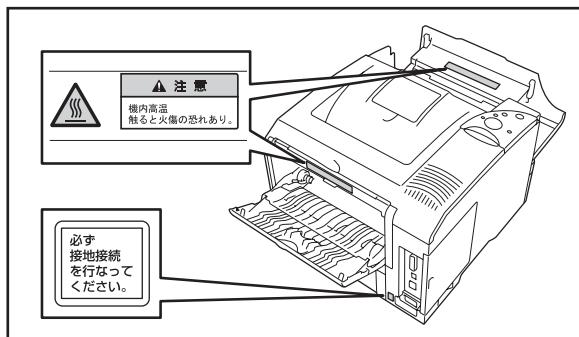
Step 1　IPアドレスやサブネットマスクの設定
Step 2　コンフィグレーションページの印刷
Step 3　接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

より便利なネットワーク機能を使うには？

DHCP
SNMP
アクセス制限
プリンター管理者用インストール
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

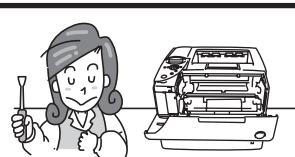
プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。警告ラベルは右図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

警 告

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー(レーザーダイオード)を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。(このプリンターは、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。)

分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理/改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源プラグをコンセントから抜く

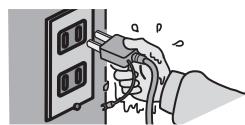
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

トナーカートリッジを火の中に投げ入れない

トナーカートリッジおよびドラムユニットを火の中に投げ入れないでください。トナーカートリッジおよびドラムユニット内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

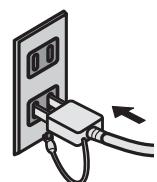
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

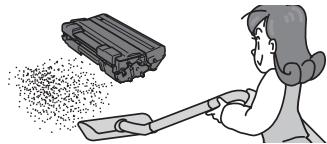
電源コードのアース線を取り付ける

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っている接地端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。
また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。ただし次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

⚠ 注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は､すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードを取り替えてください。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

プリンターを一人で持ち上げない

プリンターの質量は約18.9kgです（オプション品、ドラムユニット、トナーカートリッジ、および用紙除く）。
1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。必ず2人以上で持ち運んでください。また、プリンターの重心は前面にあるため、前面側へ倒れないように注意して持ち運んでください。

高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない

ドラムユニットやトナーカートリッジの取り付け／交換をする際は、トナーが飛散しないように注意してください。
また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。

ドラムユニット・トナーカートリッジは幼児の手に届かない場所に保管する

ドラムユニットやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し、指示を受けてください。

トナーが皮膚や衣服に付いたり、万一、目や口に入ったら、応急処置をする

次の事項に従って応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し、指示を受けてください。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口および排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりでなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

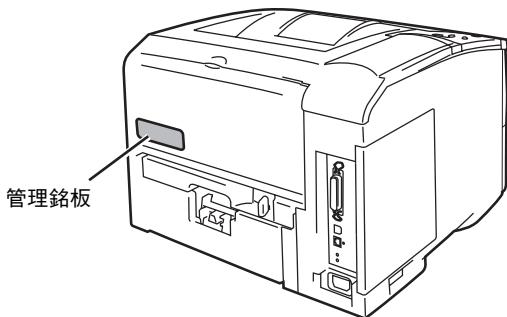
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

換気や通風を十分行う

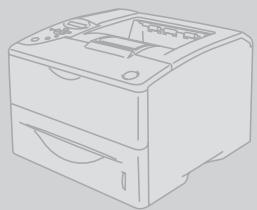
換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷すると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てなくなる原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および付録の「保守サービスについて」(91ページ)をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(右図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

環境について

- 本書は、地球環境への負担軽減を目的として再資源化（リサイクル）に配慮して製本しています。製品本体の使用を終了したら、本書は回収業者などによる再資源化にご協力ください。
- 粉じん、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク「プリンタ」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますトナーカートリッジを使用し、白黒印刷を行った場合について試験方法：ビジネス機械・情報システム産業協会（旧日本事務機械工業会）規定のJBMS-66に準拠した測定方法に基づき試験を実施しました。）
- 回収したドラムユニットやトナーカットリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったドラムユニットやトナーカットリッジは適切な処理が必要です。ドラムユニットやトナーカットリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にお渡しください。

1章 プリンターの設置

この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する

2 箱の中身を確認する

3 固定用部材を取り外す

4 各部の名称を確認する

5 ドラムユニットを取り付ける

6 用紙をセットする

7 電源コードを接続する

8 テスト印刷をする

9 ケーブルを接続する

10 ネットワークを設定する

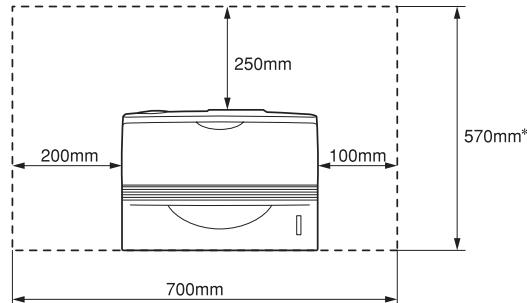
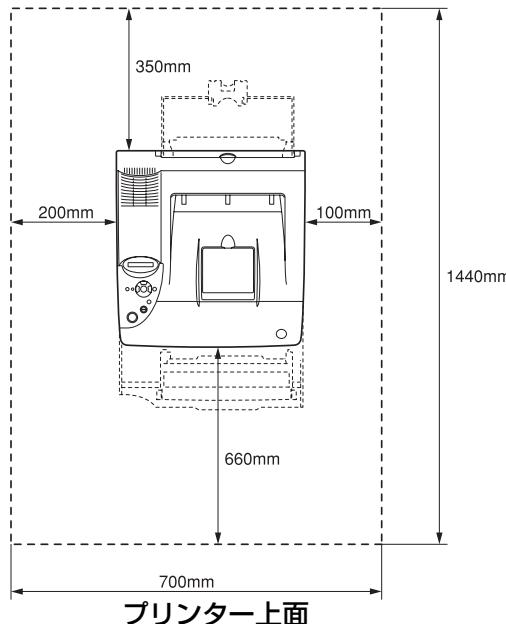
オプション品の紹介

プリンターケーブル

必要に応じてこちらもご覧ください。

MultiWriter 5400Nはパラレルインターフェース接続、USBインターフェース接続、およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください（接続方法については「9 ケーブルを接続する」（16ページ）または「10 ネットワークを設定する」（17ページ）をご覧ください）。

1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 5400Nを安全、快適にご使用いただくためには以下の「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保してください。

プリンター上面

プリンター前面

* オプションの増設ホッパーを取り付けた場合の高さは約690mmです。

⚠ 注意

プリンターの質量は約18.9kgです（オプション品、ドラムユニット、トナーカートリッジ、および用紙を除く）。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。必ず2人以上で持ち運んでください。また、プリンターの重心は前面にあるため、前面側へ倒れないように注意して持ち運んでください。

プリンター上面にある排気口をふさがないでください。プリンター内部の温度が上がり、印刷不良や故障の原因となります。

設置してはいけない場所

次のような場所には設置しないでください。

×

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり、故障の原因となることがあります。

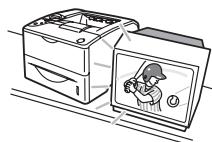
×

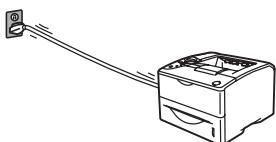
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害でプリンターが正しく動作しないことがあります。

×

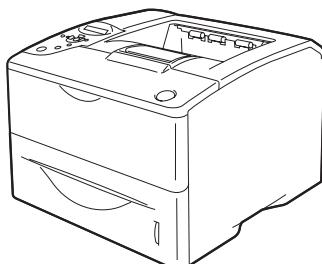
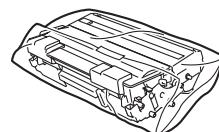
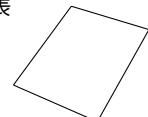
強い振動の発生する場所に設置しないでください。プリンターが正しく動作しないことがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりしてプリンターが正しく動作しなくなることがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などによりプリンターが正しく動作しなくなることがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

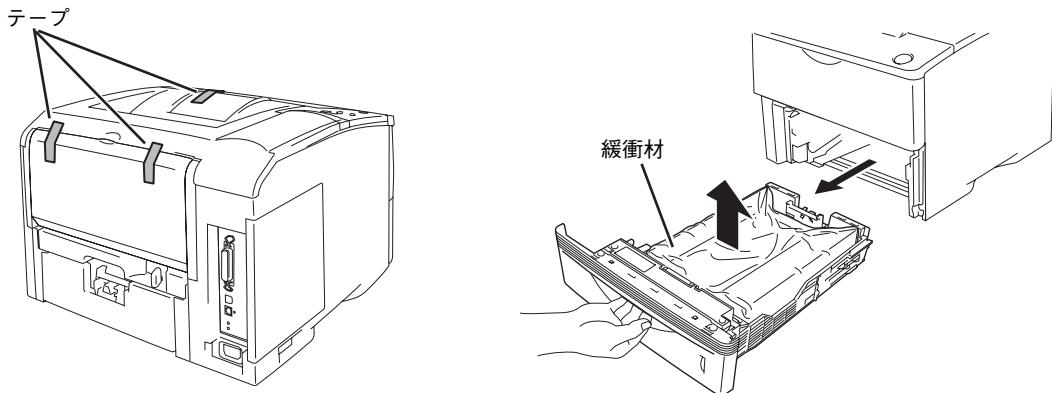
添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

プリンターの近傍（近く）にコンセントがない場所には設置しないでください。また、プリンターの電源コードを接続したコンセントは、容易に電源プラグを抜き差しできるようにしておいてください。

2 箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。梱包材料（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください。

- ご購入のプリンターのお客様登録をしてください（詳しくはNECサービス網一覧表をお読みください)。
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

3 固定用部材を取り外す

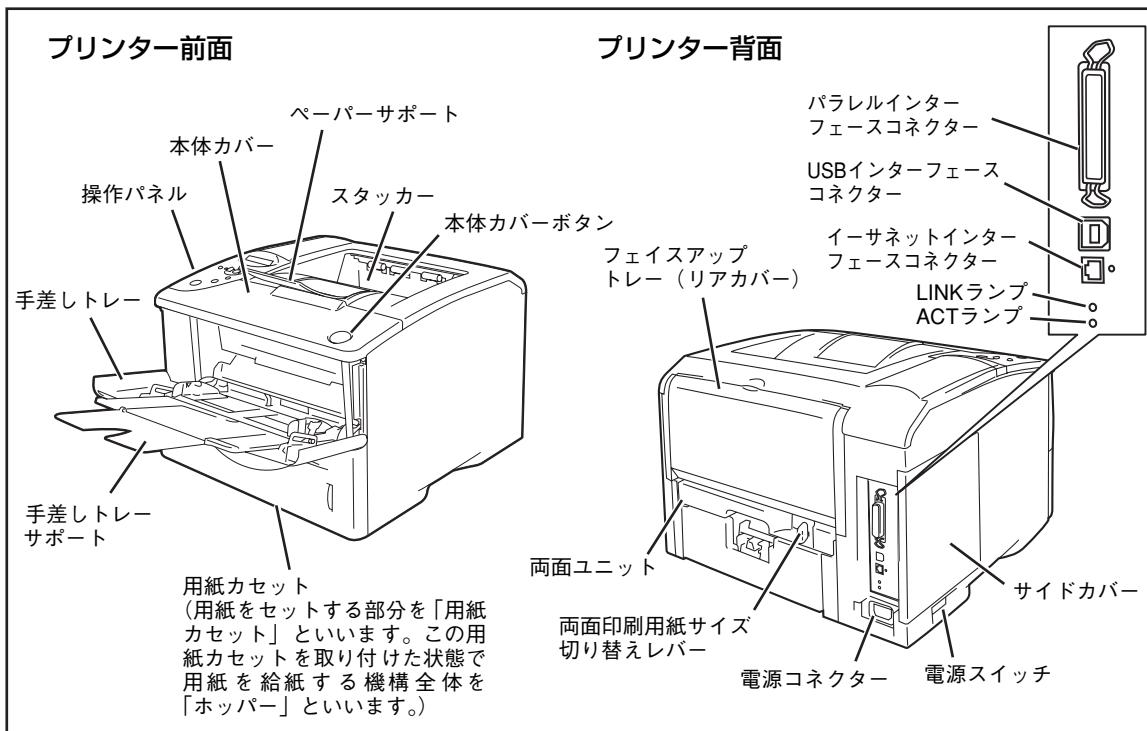
プリンターは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープや緩衝材で保護しています。図に示したテープ（3か所）、および緩衝材を取り除きます。

4 各部の名称を確認する

プリンターを使用する前に各部の名称と位置を確認してください。

プリンター前面

ペーパーサポート
本体カバー
操作パネル
スタッカー
本体カバーボタン
手差しトレー
手差しトレーサポート
用紙カセット
（用紙をセットする部分を「用紙カセット」といいます。この用紙カセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「ホッパー」といいます。）

プリンター背面

パラレルインターフェースコネクター
USBインターフェースコネクター
イーサネットインターフェースコネクター
LINKランプ
ACTランプ
フェイスアップトレー（リアカバー）
両面ユニット
両面印刷用紙サイズ切り替えレバー
電源コネクター
電源スイッチ
サイドカバー

操作パネル

<標準のスイッチ動作とランプの表示>

MultiWriter 5400N

ディスプレイ
緑色:印刷できる状態
オレンジ色:印刷データを受信できない状態
またはメニューモード中
赤色:異常が起きている状態
消灯:節電中
文字:プリンターの状態や設定内容を表示

電源/トナーランプ
緑色:電源オン
赤色:トナー残少
点滅:データ受信中
消灯:電源オフ

ストップスイッチ
印刷を停止する

キャンセルスイッチ（2秒押し続ける）
受信した印刷データの処理を中止する

印刷可スイッチ
印刷できる状態とできない状態を
切り替える

<シフトスイッチを押したときの機能>

❷ ディスプレイが
オレンジ色に点灯する

❶ シフト
スイッチを
押し続ける

用紙選択スイッチ
手差しトレーからの印刷で、印刷
する用紙サイズを切り替える

両面スイッチ
両面印刷と片面印刷を切り替える

排出スイッチ
プリンター内に残っているデータを
印刷する

ドラムユニット
カウンタクリア
スイッチ（2秒以上押し続ける）
ドラムユニットを交換後に印刷
ページカウントをクリアする

リセットスイッチ
(2回続けて押す)
電源オン時の
状態に戻す

ここで示していないスイッチの機能については活用マニュアルを参照してください。

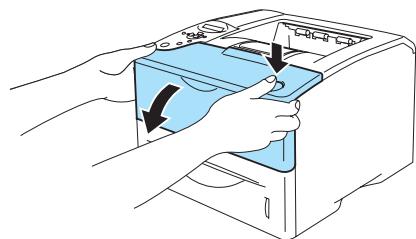
5 ドラムユニットを取り付ける

ドラムユニットは印刷を行うためのトナーカートリッジやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。購入時のプリンターにはドラムユニットが取り付けられていません。添付のドラムユニットを次の手順で取り付けてください。同梱されているドラムユニットにはトナーカートリッジがあらかじめ取り付けられています。

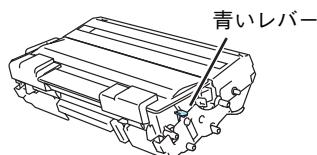
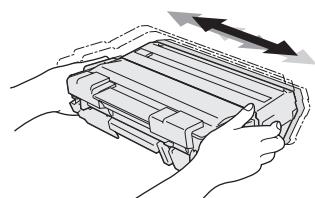
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

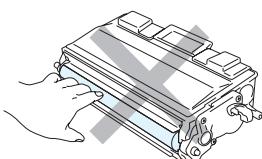
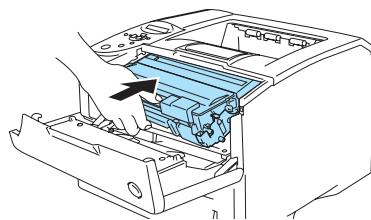
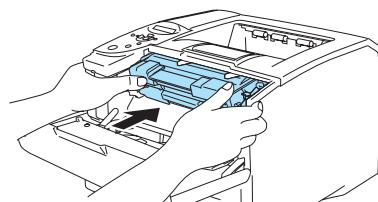
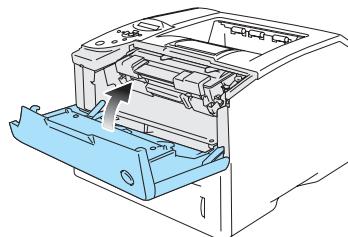
重要

- 取り付けの際は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。
- 消耗品のため、印刷が薄くなったり、操作パネルに交換を促すメッセージが現れたりしたら交換します（交換手順については、４章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）をご覧ください）。

❶ **本体カバーボタンを押して、本体カバーを開く。**

❷ **ドラムユニットを袋から取り出す。**

重要

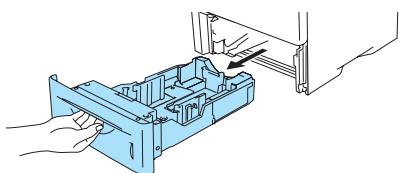
ドラムユニットにはトナーカートリッジが取り付けられています。持ち運びの際は青いレバーを押さないように注意してください。

❸ **ドラムユニットのトナーを均一にするため、水平に持って5～6回程度、図に示す方向にゆっくり振る。**

重要

- ドラムユニットは取っ手を持たず、上図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。激しく振ると、落下やローラーに傷がつくおそれがあります。
- ドラムユニットのローラーに触らないでください。

❹ **プリンターにドラムユニットをセットする。**

図のようにドラムユニットの取っ手を持ってまっすぐ差し込んだあと、両手で押し込んでください。

❺ **本体カバーを閉じる。**

6 用紙をセットする

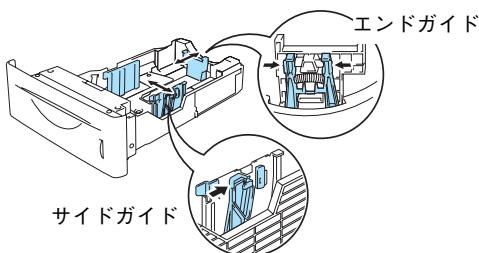
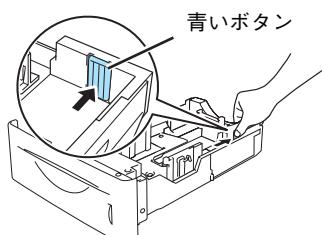
テスト印刷するためにA4サイズの用紙をホッパーにセットする手順を説明します。その他の用紙のセット方法および使用できる用紙、手差しトレーへの用紙のセット方法については「3章 用紙のセット」（43ページ）をご覧ください。

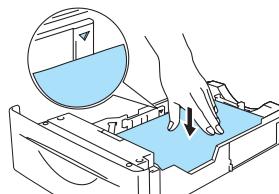
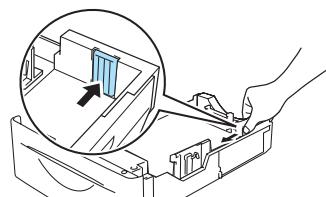
重要

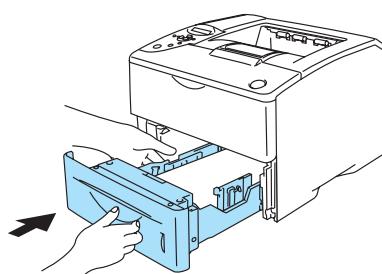
- プリンターにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をプリンターにセットしないでください。
  一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。
- 用紙カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

❶ **用紙カセットを引き出す。**

重要

購入時の用紙カセットには緩衝材が取り付けられています（「3 固定用部材を取り外す」（10ページ）参照）。緩衝材を取り除いてお使いください。

❷ **サイドガイドロックレバーとエンドガイドをそれぞれ押しながらスライドさせ、サイドガイドとエンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。**

大量の用紙をまとめてセットする場合は、青いボタンを押してロックを解除した後、ゆっくりとまっすぐにトレーを引っ張ってください。トレーが止まるまでゆっくりと引き延ばします。止まるとトレーがロックされます。

❸ **用紙カセットに用紙をセットする。**

用紙を平らにセットして、最大給紙容量のマークを越えていないことを確認してください。

トレーを引き延ばした場合は、青いボタンを押しながら、カセットを用紙サイズに合わせて「カチッ」と音がするまで縮めてください。

❹ **用紙カセットをプリンターにセットする。**

重要

用紙を大量にセットした用紙カセットは重くなっています。用紙カセットを取り付けるときは、両手で持って取り付けてください。

7 電源コードを接続する

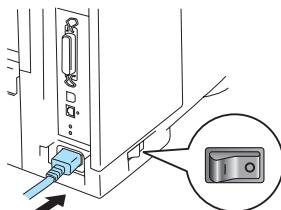
警告

- 万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を必ず次のどれかに取り付けてください。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 接地工事（D種）を行っている接地端子
  - 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してから行ってください。
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
  - ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
  - 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
  - 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役割を果たしません。）

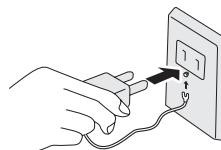
注意

- 電源プラグは、定格電圧100Vで定格電流10A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンターの定格電源は、100V、8.3Aとなっています。
- 電源プラグやコンセントに付着したほこりは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

❶ **プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

❷ **電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクターに差し込む。**

❸ **もう一方の電源プラグに付いているアース端子を接続し、プラグをコンセント（電流容量10A以上）に差し込む。**

重要

- 電源プラグは電流容量10A以上のコンセントに差し込んでください。
- プリンターの電源コードをコンピューター本体の補助コンセントに接続しないでください。

8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるためにプリンターの操作パネルのスイッチを使って、テスト印刷をします（操作パネルについては活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」をご覧ください）。また、あらかじめ「6 用紙をセットする」（13ページ）でA4サイズの用紙を標準ホッパーにセットしてから行ってください。

このテスト印刷は5章の「紙づまりのときは」（80ページ）の処置が終った後にも実行することをお勧めします。

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

［電源/トナー］ランプが点灯し、ディスプレイの照明が緑色に変わったことを確認してください。

❷ 操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。

ディスプレイの照明がオレンジ色に変わります。

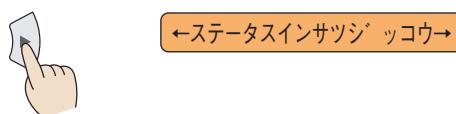
❸ ［メニュー］スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー”と表示されます。

テストメニュー →

❹ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイには“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

←ステータスインサツジ゛ッコウ→

❺ ［▶］スイッチを押す。

［データ］ランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

テストインサツチュウ

❻ 印刷結果を確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter5400N
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00
給紙構成	ホッパ1	A 4
	手差し	A 4
メモリ容量	152MB	

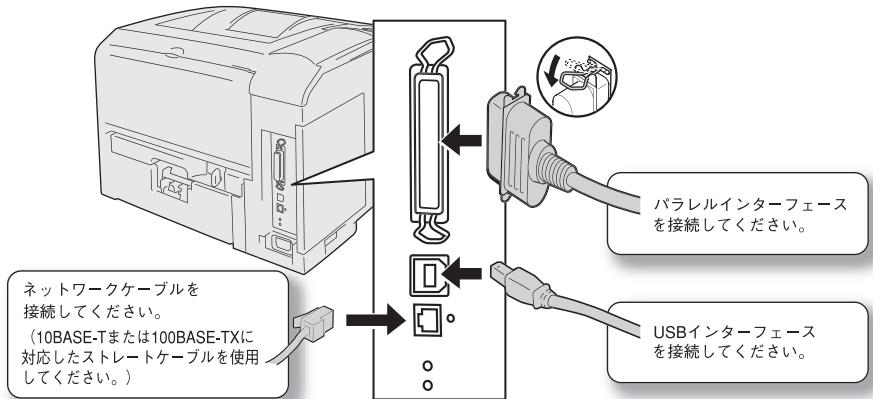
メニュー情報

印刷設定メニュー		
	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	ホッパ1	普通紙
	手差し	普通紙
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	A 4
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	A 4
	手差し	A 4
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	手差し微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング
	余白	0mm
	クリップ	ON
	奇数ページ	片面
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	1分
	自動排出	無効
	メモリ設定	電子ソート優先
	総印字枚数	1枚
	プロッタ縮小機能	無効
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	O
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インターフェース2	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インターフェース2	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
プロッタ設定	ペン幅設定	
	ペン1	0.1mm
	ペン2	0.1mm
	ペン3	0.1mm
	ペン4	0.1mm
	ペン5	0.1mm
	ペン6	0.1mm
	ペン7	0.1mm
	ペン8	0.1mm
	原点位置設定	左下
	任意スケール	100%
	回転角度設定	0°
	線端形状	なし
	接続形状	マイタ
	マイタリミット	なし
	SPコマンド排出	OFF
	ミラー設定	OFF
	オーバレイ設定	OFF
	NRコマンド動作	オンライン
	カルーゼル番号	1
	拡張モード	無効
I/F設定	インターフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インターフェース2	
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
	DHCP	OFF
	イーサネット設定	自動
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

これでテスト印刷は終了です。次に、プリンターをコンピューターまたはネットワークへ接続します。

9 ケーブルを接続する

プリンターにケーブルを接続します。コンピューターに直接接続して使用する場合はパラレルインターフェースケーブルかUSBケーブルのいずれかをプリンター背面のコネクターに差し込んでください。
ネットワークを経由してプリンターを使用する場合は、ネットワークケーブルをイーサーネットインターフェースコネクターに差し込んでください。

パラレルインターフェースおよびネットワークケーブルを接続する前にプリンターおよび接続先のコンピューターなどの機器の電源をOFFにしてください。

LANアダプターなどネットワークオプションを介してプリンターをネットワークで使用する場合は、「オプション品の紹介」（20ページ）および活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」を参照してください。

- プリンターケーブルは添付されていません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めください。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。使用できるプリンターケーブルについては「プリンターケーブル」（20ページ）および活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」の「プリンターケーブル」を参照してください。
- ネットワークケーブルは添付されていません。お使いになる環境に合わせてネットワークケーブルを別途お買い求めください。標準のLANインターフェースおよびオプションのLANアダプターは、10BASE-Tおよび100BASE-TXの2種類に対応しています。

重要

- パーソナルコンピューター本体とプリンターとの接続は、弊社指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用したりすると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。
- ネットワークケーブルを接続する前に、他のネットワーク利用者が印刷やファイルの転送を行っていないことを確認してください。
- プリンターおよびLANアダプターの電源は、必ずOFFにしてからケーブルを接続してください。電源がONのままケーブルを接続すると誤動作の原因となります。

10 ネットワークを設定する

ネットワークを経由してプリンターを使用する場合は、ケーブルを接続した後、コンフィグレーションページの印刷、およびIPアドレスとサブネットマスクを設定します。

コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページ（LANステータス）とは、ネットワークインターフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなど、プリンターの設定情報が一覧できる情報ページのことです。ネットワークケーブルを接続したとき、またはネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページを印刷して設定内容の確認を行ってください。

- ネットワークへのセットアップ後やプリンターの設定を変更した後は必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。
- オプションのマルチプロトコルLANアダプタや無線LANプリンタアダプタを使用する場合は、LANアダプターの種類によって手順が異なります。LANアダプターに添付の説明書に記載されている手順に従ってコンフィグレーションページを印刷してください。

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

［電源/トナー］ランプが点灯し、ディスプレイの照明が緑色に変わったことを確認してください。

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「6 用紙をセットする」(13ページ）を参照してセットしてください。

❷ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

ディスプレイの照明がオレンジ色に変わります。

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

ディスプレイには“テストメニュー”と表示されます。

テストメニュー →

❹ **［▶］スイッチを押す。**

ディスプレイには“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

←ステータインサツスジ゛ッコウ→

❺ **［▼］スイッチを3回押す。**

ディスプレイには“←LANステータス　ジッコウ→”と表示されます。

←LANステータス　ジ゛ッコウ→

❻ **［▶］スイッチを押す。**

印刷を開始します。

❼ **印刷されたコンフィグレーションページを参照してネットワークインターフェースの設定内容を確認する。**

IPアドレスとサブネットマスクの設定をする

ここでは、プリンターの操作パネルを使った設定方法を説明します。設定するIPアドレスやサブネットマスクなどの値は、ご使用になるネットワークの管理者におたずねください。

操作パネルから設定する方法以外に、プリンターに添付のCD-ROMに収録されている「EASY設定ユーティリティ」または「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ＊[1]」でも設定できます。無線LANプリンタアダプタを使用する場合は、「無線LANプリンタ導入ウィザード」(プリンターに添付のCD-ROMに収録)で設定することもできます。ユーティリティまたはウィザードで設定する場合は、活用マニュアルの「ネットワークに接続するには？」を参照してください。

＊1　Windows Vista（64 ビット版）、Windows XP（64 ビット版）、Windows Server 2008、および Windows Server 2003 には対応していません。

✔チェック

- オプションのマルチプロトコルLANアダプタや無線LANプリンタアダプタを使用する場合は、活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」に記載されている手順で設定してください。
- DHCPサーバーをお使いの場合は、IPアドレスおよびサブネットマスクのほかにDHCPの設定も行ってください（活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」参照）。
- ゲートウェイアドレスとアクセス制限を設定することもできます。ゲートウェイアドレスの設定方法については、活用マニュアルの「ネットワークに接続するには？」を参照してください。アクセス制限の設定方法については、活用マニュアルの「より便利なネットワーク機能を使うには？」を参照してください。

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

［電源/トナー］ ランプが点灯し、ディスプレイの照明が緑色に変わったことを確認してください。

❷ 操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。

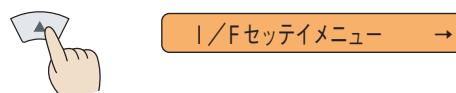
ディスプレイの照明がオレンジ色に変わります。

❸ ［メニュー］スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー”と表示されます。

テストメニュー　→

❹ ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー　→”と表示されるまで［▲］スイッチを数回押す。

I／Fセッテイメニュー　→

❺ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイに“←ソウホウコウセッテイI／F1→”と表示されます。

←ソウホウコウセッテイ I／F 1→

❻ ディスプレイに“←IPアドレス　I／F2→”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。

←IPアト゛レス　I／F 2→

❼ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイに初期設定のIPアドレスが表示されます。

011.022.033.044＊

❽ IPアドレスを設定する。

［設定変更］スイッチで設定を変更します。

1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、［◀］スイッチで手順❼に戻って入力し直してください。

❾ ［◀］スイッチを押す。

ディスプレイに再び“←IPアドレス　I/F2→”の表示に戻ります。

←IPアドレス　　I/F2→

❿ ［▼］スイッチを数回押す。

ディスプレイに“←サブネットマスク　I/F2→”と表示されます。

←サブネットマスク　I/F2→

⓫ ［▶］スイッチを押す。

ディスプレイに初期設定のサブネットマスクが表示されます。

255.000.000.000*

⓬ サブネットマスクを設定する。

［設定変更］スイッチで設定を変更します。

1回押すごとに以下のように数字が変わります。

0→1→2→3→4→5→6→7→8→9

カーソルを移動させるには、［▶］スイッチを押します。カーソルは右方向しか動きません。入力し間違えたら、［◀］スイッチを押し、手順❼に戻って入力し直してください。

> ゲートウェイアドレスの設定を行う場合も、同様の手順で操作パネルから設定することができます。活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」の「メニューツリー」を参照して設定してください。

⓭ ［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

ディスプレイの照明が緑色に変わり、プリンターはセレクト状態（印刷可能な状態）になります。

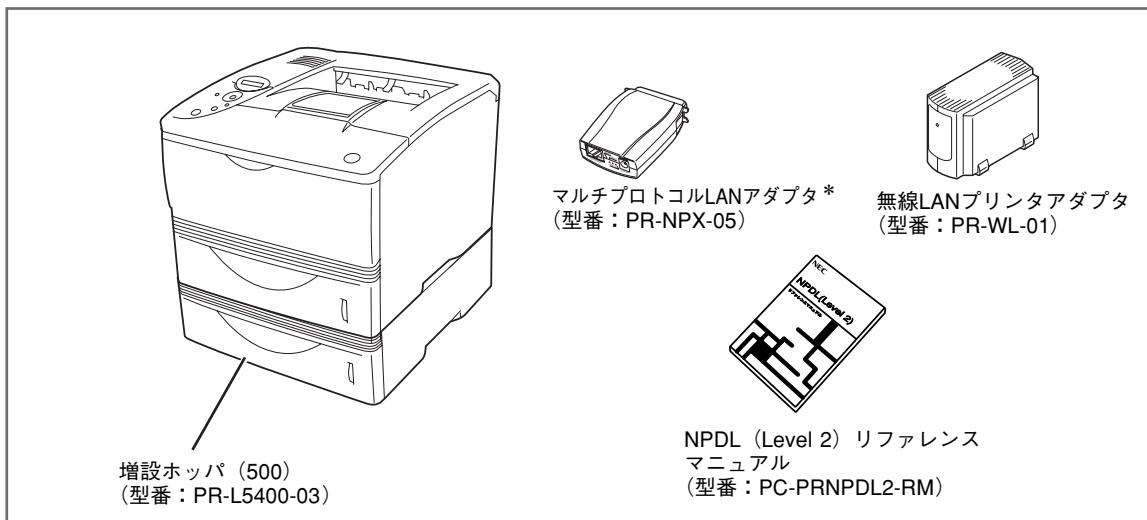
⓮ コンフィグレーションページを印刷する。

手順については「コンフィグレーションページを印刷する」（17ページ）を参照してください。

⓯ コンフィグレーションページの印刷結果を参照して、正しく設定されているか内容を確認する。

これでネットワークへの接続は完了です。
次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（21ページ）に進み、プリンターソフトウエアをインストールしてください。

オプション品の紹介

MultiWriter 5400Nには以下のようなオプションが用意されています。各オプションの詳細については、活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」をご覧ください。

* マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）は、PrintAgent、およびSNMP（Printer MIB、Host Resource MIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

プリンターケーブル

使用できるコンピューターの種類については活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」をご覧ください。

型　番	品名	説　明
PR-UCX-02	USBケーブル	プリンターのUSBインターフェースとコンピューターのUSBインターフェースを接続するためのケーブルです。ケーブルの長さは2m。
PC-PRCA-01	プリンタケーブル	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）用プリンターケーブルです。D-sub25ピン、ケーブルの長さは1.5m。
PC-CA202	プリンタケーブル	PC-9800シリーズ用プリンターケーブルです。ハーフピッチ36ピン、ケーブルの長さは1.5m。
PC-CA203	プリンタケーブル	PC-9800シリーズ用プリンターケーブルです。14ピン、ケーブルの長さは4m。
PC-CA204	プリンタケーブル	PC-9800シリーズ用プリンターケーブルです。ハーフピッチ36ピン、ケーブルの長さは4m。
PC-CA205	プリンタケーブル	PC98-NXシリーズ用プリンターケーブルです。D-sub 25ピン、ケーブルの長さは4m。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windowsオペレーティングシステム（対応OSについては22ページを参照してください）を使用しているコンピューターにプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

重要

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターソフトウエアCD-ROMについては、ご使用になる前にメニュープログラムの「はじめに」をお読みください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 5400Nに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windowsオペレーティングシステム（対応OSについては22ページを参照してください）がインストールされたコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。
CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- **はじめに**：プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- **インストール**：お使いのコンピューターにインストールされているWindowsオペレーティングシステムに対応した、プリンターソフトウエアをインストールできます。
- **オンラインマニュアル**：オンラインマニュアル（「活用マニュアル」）を閲覧または印刷するためには「Adobe Reader」または「Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」（iiページ）またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。

- **ユーティリティー：**
  - DocuWorks閲覧ソフトウエア「DocuWorks Viewer Light」
  - NEC Internet Printing System
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 日立ITバーコードフォントセット
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - NEC印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Reader 8（別のバージョンが必要な場合はアドビ社のホームページからダウンロードしてください）
- **バージョンアップ：** CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順については「ご利用の前に」（Update.txt）または活用マニュアルの「便利なプリント機能を使いたい」をご覧ください。（Windows Vista・Windows XP（64ビット版）・Windows Server 2008・Windows Server 2003（64ビット版）では利用できません。）

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 5400Nに添付のプリンターソフトウエアの動作環境は下表を参照してください。

メモリーについては、PrintAgentをクライアント－サーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、およびWindows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）にメモリーを増設し運用することを推奨します。

接続方法	動作コンピューター＊1	対応 OS	メモリー
パラレルインターフェース または ネットワークインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機） PC-9800シリーズ	Windows Vista（日本語版） Windows Vista（64ビット版・日本語版） Windows XP（日本語版） Windows XP（64ビット版・日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版）＊2 Windows 95（日本語版） Windows Server 2008（日本語版） Windows Server 2008（64ビット版・日本語版） Windows Server 2003（日本語版） Windows Server 2003（64ビット版・日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OS の動作条件に準じます。
USBインターフェース＊3	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows Vista（日本語版） Windows Vista（64ビット版・日本語版） Windows XP（日本語版） Windows XP（64ビット版・日本語版） Windows Me（日本語版） Windows Server 2008（日本語版） Windows Server 2008（64ビット版・日本語版） Windows Server 2003（日本語版） Windows Server 2003（64ビット版・日本語版） Windows 2000（日本語版）	OS の動作条件に準じます。

＊1 OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各 OS の説明書を参照してください。
＊2 以下、本書で“Windows 98”と表記している場合は、Windows 98 Second Edition を含みます。
＊3 USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

なお、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティーソフトウェアの対応OSについては、各ユーティリティーのReadmeファイルなどを参照してください。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANインターフェースでプリンターがネットワークに接続されている。
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSの説明書をご覧ください。

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSの説明書をご覧ください。

- 以下のOSではPrintAgentをご利用になれません。
  Windows Vista・Windows XP（64ビット版）・Windows Server 2008・Windows Server 2003（64ビット版）

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするために必要なハードディスクの容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP Windows Server 2003 Windows 2000 日本語版	Windows Vista Windows XP（64ビット版） Windows Server 2008 Windows Server 2003 （64ビット版） 日本語版	Windows Me Windows 98 Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約13.0MB	ー	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む 一般ユーザー向け	最大 約16.5MB	ー	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約18.5MB	ー	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約5.5MB	約5.5MB	約3.5MB	約4.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアのインストール方法は、お使いのOSによって手順が異なります。

- Windows Vista、Windows XP（64ビット版）、
  Windows Server 2008、Windows Server 2003（64ビット版）................................24ページへ
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、
  Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT4.0 ....29ページへ

プリンタードライバーのインストール

(Windows Vista、Windows XP(64ビット版)、Windows Server 2008、Windows Server 2003(64ビット版))

Windows Vista、Windows XP(64ビット版)、Windows Server 2008、およびWindows Server 2003(64ビット版)で動作しているコンピューターにプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

プリンタソフトウエアCD-ROMをインストールするコンピューターのCD-ROMドライブにセットすると、「プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー」が起動します。プリンタードライバーはこのメニューからインストールすることができます。
プリンタソフトウェアCD-ROMメニューでは、お使いのコンピューターとローカル接続(パラレルインターフェース(LPT)およびUSBインターフェース)されたMultiWriter 5400N、およびネットワーク上に接続されているMultiWriter 5400Nを自動的に検索し、プリンタードライバーのインストールを行います。

インストールの準備

インストールを始める前に次の準備をしてください。

- パラレルインターフェースケーブルまたはUSBインターフェースケーブルをMultiWriter 5400Nに接続して使用する場合は、それぞれのケーブルをコンピューターとMultiWriter 5400Nに接続してください。プリンターの電源はOFFのままにしてください。
- ネットワークを介した環境でMultiWriter 5400Nを使用する場合は、ネットワークケーブルをMultiWriter 5400Nに接続した後、「1章　ネットワークを設定する」(17ページ)を済ませておいてください。プリンターの電源はONのままにしてください。

インストール手順(プリンターを検索してインストールする)

ローカル接続(パラレルインターフェース接続およびUSBインターフェース接続)では「プラグ・アンド・プレイ」も併せて実行します。ここでは、Windows Vista 日本語版を例にとり、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

Windows VistaまたはWindows XP(64ビット版)にインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2008またはWindows Server 2003(64ビット版)にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。

❶ **<ローカル接続の場合>**

プリンターの電源が **OFF** になっていることを確認する。

<ネットワーク接続の場合>

プリンターの電源が **ON** になっていることを確認する。

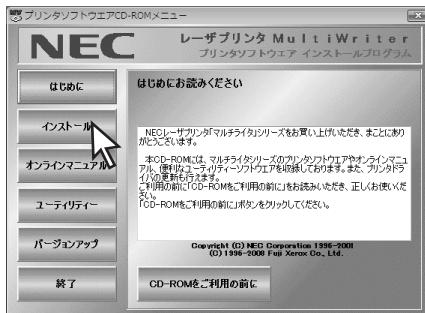
❷ **Windows Vista 日本語版を起動する。**

このプリンターとローカル接続しているコンピューターで新しいハードウエア検索画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックしてウィザードを終了してください。

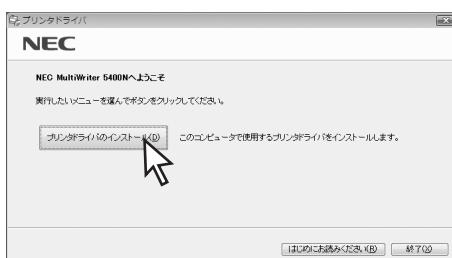
❸ プリンタソフトウェアCD-ROMをセットする。

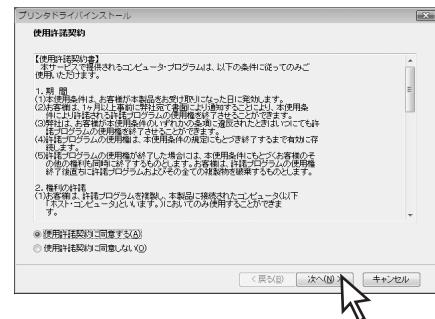
［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

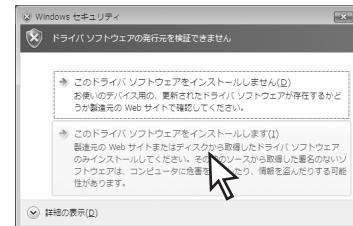
［自動再生］ダイアログボックスが表示されたら、[MWSETUP.EXEの実行をクリックして作業を進めてください。また、［ユーザーアカウント制御］のダイアログボックスが表示された場合は［許可］をクリックして作業を進めてください。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❹［インストール］をクリックする。

❺ プリンター名が表示されたら右側のボックスから［MultiWriter5400N］を選んで［インストール開始］をクリックする。

❻［プリンタドライバのインストール］をクリックする。

❼［使用許諾契約］の記載をよく読み、［使用許諾契約に同意する］を選び、［次へ］をクリックする。

同意しないと次へ進めません。

以下の［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックし、インストールを続行してください。なお、［このドライバソフトウェアをインストールしません］をクリックした場合はインストールが中止されます。

プリンターの検索を開始します。しばらくお待ちください。ご利用の環境によっては検索終了までに時間がかかる場合があります。

プリンターの検索を終了すると、リストに検索されたプリンターの一覧が表示されます。

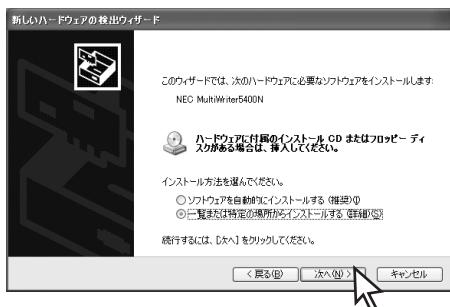
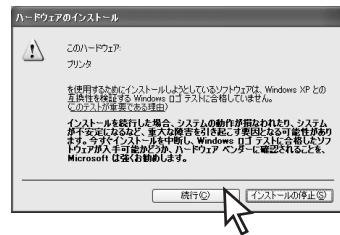
- ここで表示されるプリンターはネットワークに接続されたプリンターです。インストールするプリンターが表示されている場合は、手順❾へ進んでください。
- インストールするネットワーク上のプリンターがリストに表示されていない場合は、[再検索]をクリックしてください。それでも表示されない場合は、プリンターの電源がONになっていること、およびネットワークに正しく接続されていることを確認してください。
- Windowsの「マイネットワーク」内に存在する共有プリンターなどネットワーク共有プリンターのインストールをする場合は、このリストには表示されません。[プリンタドライバの追加]をクリックして手順を進めます。「インストール手順(プリンターを追加する)」(27ページ)で説明しています。

❽ ＜ローカル接続の場合のみ＞

1 プリンターの電源をONにする。
[新しいハードウェアの検索ウィザード]が起動します。ここでプラグ・アンド・プレイのセットアップをします。
Windows VistaおよびWindows Server 2008の場合は、自動的にプラグ・アンド・プレイのセットアップを完了します。手順❾へ進んでください。

チェック

- 複数のプリンターを接続している場合は、1台ずつ電源をONにしてウィザードを完了させてください。
- 新しいハードウエア検出画面内にWindows Updateへの接続設定画面が表示された場合、ここではWindows Updateに接続せずに次へ進んでください。

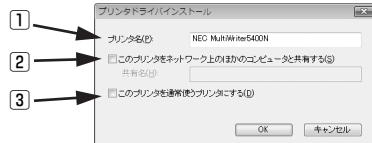
2 [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]を選んで[次へ]をクリックする。
インストールを開始します。

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。
[続行]をクリックし、インストールを続行してください。なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

3 プラグ・アンド・プレイによるハードウエア(このプリンター)のインストールの完了を知らせる画面で[完了]をクリックする。
[プリンタドライバ]の一覧にプリンターが表示されます。

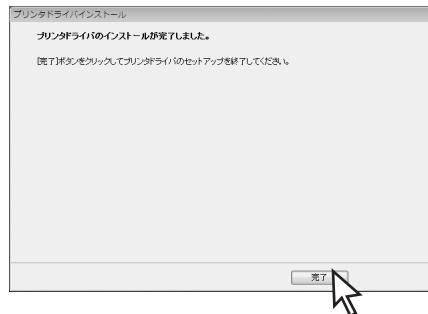
❾ インストールしたいプリンターにチェックマークを入れて[次へ]をクリックする。

- プラグ・アンド・プレイで検索されたプリンターのチェックをオフにはできません。
- ダイアログボックスの下側にある[すべてクリア]をクリックするとチェックボックスの操作ができるプリンターのチェックがすべてオフになります。

❿ 設定内容に変更がない場合は［インストール］をクリックする。

インストールを開始します。インストールを終了すると終了を知らせる画面が表示されます。

なお、リストの中のプリンターを選び、この画面の［変更］をクリックすると設定を変更することができます。

1. このプリンターの名前を変更できます。複数のプリンターをインストールする場合、およびすでにこのプリンターの名前でインストール済みの場合、プリンターの名前の後ろに"（コピーn）"を自動的に付けます（nは1から順に増えていきます）。
2. このプリンターをネットワーク上の他のコンピューターからも印刷できる共有プリンターに設定できます。名前はわかりやすいものにしてください。
3. コンピューターでこのプリンターを通常使うプリンターに設定します。

⓫ ［完了］をクリックする。

⓬ ［終了］をクリックして画面上に表示されている［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］を閉じる。

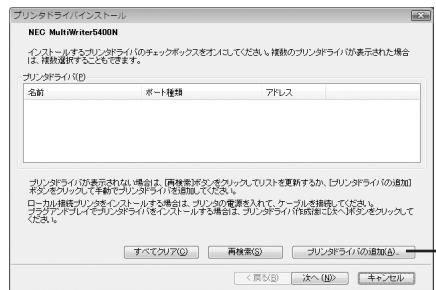
以上で完了です。

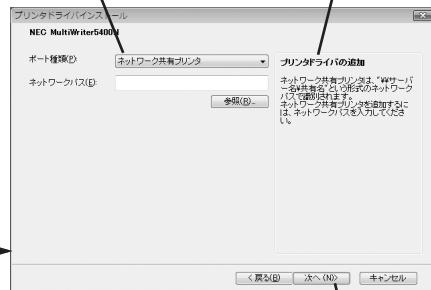
インストール手順（プリンターを追加する）

プリンタソフトウェアCD-ROMメニューには、プリンターを検索してインストールする方法に加えて、手動で設定したプリンターを追加インストールする方法もあります。
この方法では、次の種類のプリンターを追加することができます。

- 同じネットワーク上の他のコンピューターに接続されたMultiWriter 5400N（ネットワーク共有プリンタ）
- IPアドレスを持つMultiWriter 5400N（TCP/IP）*1
- パラレルインターフェースで接続されるMultiWriter 5400N（パラレル）*1

*1 「インストール手順（プリンターを検索してインストールする）」（24ページ）に示す手順でインストールすることをお勧めします。

「インストール手順（プリンターを検索してインストールする）」(24ページ）の手順❼で表示された画面で［プリンタドライバの追加］をクリックする。

［ポート種類］で選択した項目によって設定項目が変化する。

現在選択している［ポート種類］の設定方法などの説明を表示する。

設定を完了したら、［次へ］で進む。
以降は「インストール手順（プリンターを検索してインストールする）」(24ページ）の手順❾以降を参照してください。

Windows XP（64ビット版）およびWindows Server 2003（64ビット版）の場合、この方法でプリンターを追加した後、プリンターケーブルでプリンターに接続すると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。この手順を行うことで［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンタアイコンが作成されません。

❶ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］で［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする。

新しいハードウエア検出画面内にWindows Updateへの接続設定画面が表示された場合は、Windows Updateに接続せずに次へ進んでください。

❷ ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

❸ ［ディスク使用］をクリックする。

❹ ファイルのコピー元を指定して、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROM　ドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW5400N¥VISTA¥Drivers¥Win_x64¥Japanese」と入力します。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスで［続行］をクリックする。

［続行］をクリックすると、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが閉じて、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスに戻ります。

❼ ［完了］をクリックする。

以下のネットワークプリンターとして追加する場合は、活用マニュアルの「ネットワークに接続するには？」の「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」を参照してください。

- IPP（Internet Printing Protocol）
- UNIX用印刷サービス（LPR）
- Standard TCP/IP（LPR）

プリンタードライバーのインストール

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT4.0

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の条件を確認して、それぞれのページへ進んでください。なお、プリンターを管理したり、標準装備のLANインターフェースやオプションのLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、活用マニュアルの「より便利なネットワーク機能を使うには？」をご覧ください。

- **コンピューターとケーブルで接続する**

USB ケーブルで接続する場合		
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合	⇒	「USBインターフェース接続によるインストール」（33ページ）へ進んでください。
Windows Meの場合	⇒	活用マニュアルの「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。
パラレルインターフェースケーブル（プリンターケーブル）で接続する場合		
プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	⇒	『「インストールプログラム」からのインストール』（30ページ）へ進んでください。
プラグ・アンド・プレイ＊1 でインストールする	⇒	活用マニュアルの「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

＊1　「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000 がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

- **ネットワークで接続する**

プリンタードライバーと PrintAgent を共にインストールする		
『「インストールプログラム」からのインストール』（30ページ）へ進んでください。		
プリンタードライバーのみインストールする		
ネットワーク接続に［NEC TCP/IP Port］を使用する	⇒	『「インストールプログラム」からのインストール』（30ページ）へ進み、接続先に［NEC TCP/IP Port］を選択して、PrintAgentのインストール選択手順で［インストールを選択しない］を選択してインストールしてください。
ネットワーク接続にOSがもつLPR機能を使用する	⇒	活用マニュアルの「ネットワークに接続するには？」のStep3へ進んでください。
ターミナルサービスを使用する		
活用マニュアルの「ネットワークに接続するには？」のStep3へ進んでください。		

- **MS-DOS環境でご使用の場合**
  活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」の「日本語MS-DOS環境」を参照してください。

- **PrintAgentをご利用になる場合**
  プリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」（75ページ）をお読みください。
- **フロッピーディスクでインストールする場合**
  フロッピーディスクの作成手順については、活用マニュアルの「より便利なネットワーク機能を使うには？」の「プリンター管理者用インストール」をご覧ください。本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriter 5400Nをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［ローカルポート］を選択します。
- 標準装備のLANインターフェースまたはLANアダプター＊で接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［NEC TCP/IP Port］を選択します。
- PrintAgentをインストールしないと、プリンタードライバーのプリンター構成情報は自動的に設定されません。プリンタードライバーのインストール後に手動で設定してください。

＊ マルチプロトコルLANアダプタ（PR-NPX-05）は対応していません。［ローカルポート］を選択し、インストールしてください。詳しくはマルチプロトコルLANアダプタ（PR-NPX-05）に添付されているセットアップガイドを参照してください。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターケーブルで接続している場合のプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

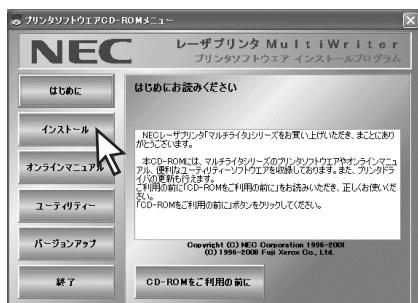
Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、［Administrators］または［Domain Admins］グループのメンバーである必要があります。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ **プリンター名が表示されたら右側のボックスから［MultiWriter5400N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

❺ **［インストール開始］ダイアログボックスで、［次へ］をクリックする。**

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻ **［プリンタドライバインストール］ダイアログボックスで、［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。**

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW5400N¥DISK1¥DRIVERS.TXT」を参照してください。

❼ **［プリンタ接続先選択］ダイアログボックスでプリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。**

［ローカルポート］、［ネットワーク共有プリンタ］、［NEC TCP/IP Port］の中から選択してください。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、プリンターがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、標準装備のLANインターフェースを使用している場合、またはプリンターとLANアダプターが接続され、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

＜［ローカルポート］を選んだ場合＞

［ローカルポート選択］ダイアログボックスで希望するポートを選び［次へ］をクリックする。
手順❽へ進んでください。

＜［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合＞

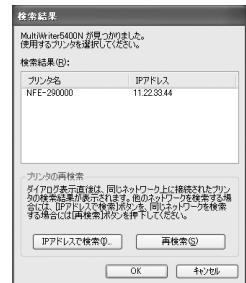
［ネットワーク共有先設定］ダイアログボックスでプリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

＜［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合＞

［NEC TCP/IP Port設定］ダイアログボックスでプリンター本体またはオプションのLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、［次へ］をクリックする。

IPアドレスを設定する場合

［検索］をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、［OK］をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **［共有プリンタ設定］ダイアログボックスが表示されたら、［次へ］をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、このダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順へ進んでください。

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

❾ **［PrintAgentインストール］ダイアログボックスで［PrintAgentをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。**

［PrintAgentをインストールしない］を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

管理者としてインストールする場合は、必ず［PrintAgentをインストールする］を選択してください（プリンターの管理者用インストールについては活用マニュアルの「より便利なネットワーク機能を使うには？」を参照してください）。

⑩ **［PrintAgentインストール方法選択］ダイアログボックスで使用目的に応じて［標準インストール］または［一般ユーザ向けカスタムインストール］のどちらかのインストール方法を選び、［次へ］をクリックする。**

［一般ユーザ向けカスタムインストール］を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて［次へ］をクリックしてください。［全追加］をクリックするとすべてチェックが付きます。［全削除］をクリックするとすべてチェックが外れます。

⑪ **［PrintAgentディレクトリ設定］ダイアログボックスで、PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して［次へ］をクリックする。**

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⑫へ進んでください。

［容量不足］ダイアログボックスが表示されたときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更するか不要なファイルを削除してください。

⑫ **［設定完了］ダイアログボックスで設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。**

⑬ **［セットアップ開始］ダイアログボックスで［OK］をクリックする。**

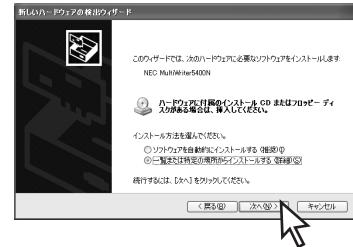
PrintAgentのインストールが開始されます。

⑭ **インストールが終了したら、［セットアップ完了］ダイアログボックスで［OK］をクリックする。**

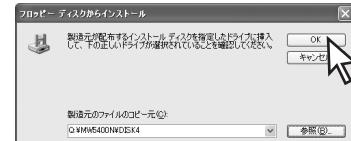
⑮ **［終了］をクリックして画面上に表示されている［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］を閉じる。**

以上で完了です。

- 再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- Windows XP、またはWindows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンタアイコンは作成されません。

1.［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする（新しいハードウエア検出画面内にWindows Updateへの接続設定画面が表示された場合は、Windows Updateに接続せずに次へ進んでください）。

2.［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

3.［ディスク使用］をクリックする。

4.ファイルのコピー元を指定して、［OK］をクリックする。
ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW5400N¥DISK4」と入力します。

5.［次へ］をクリックする。

6.［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスで［続行］をクリックする。
［続行］をクリックすると、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが閉じて、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスに戻ります。

7.［完了］をクリックする。

USBインターフェース接続によるインストール

ここでは、USBインターフェースでプリンターに接続したときのプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。Windows Meをお使いの場合は、活用マニュアルの「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。
また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

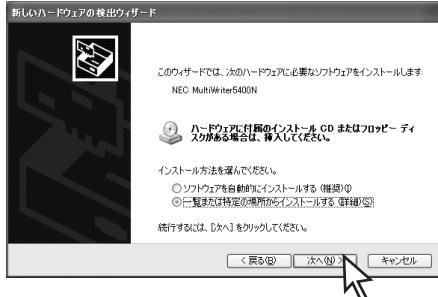
❷ **MultiWriter 5400Nの電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

新しいハードウエア検出画面内にWindows Updateへの接続設定画面が表示された場合は、Windows Updateに接続せずに次へ進んでください。

❹ **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、30ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

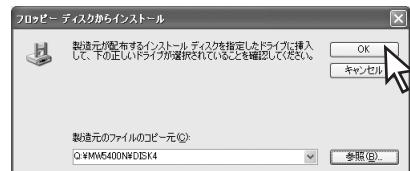
❺ **［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスで、［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **「ハードウェアの種類」から［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **「プリンタの追加ウィザード」で［ディスク使用］をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **［フロッピーディスクからインストール］ダイアログボックスで、ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW5400N¥DISK4」と入力します。

［OK］をクリックすると、［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスに戻ります。

❿ 使用するプリンター名を選び、［次へ］をクリックする。

インストールを開始します。

［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。なお、［インストールの停止］をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ 「新しいハードウェアの接続ウィザードの完了」と表示されたら［完了］をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（30ページ）で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ USBケーブルを接続する。

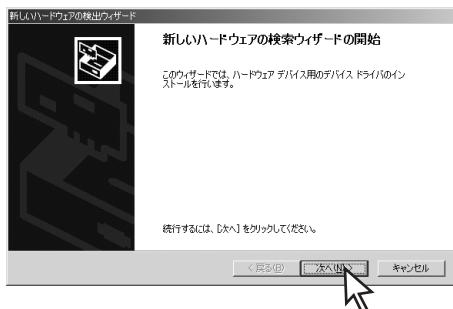
❷ MultiWriter 5400Nの電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 2000 日本語版を起動します。新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

❹ ［次へ］をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、30ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

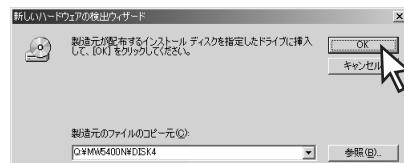
接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ ［新しいハードウェアの検出ウィザード］ダイアログボックスで［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。

すでに一度プリンタードライバーをインストールしたコンピューターの場合、［NEC MultiWriter5400N］が表示されます。

❻ 「ドライバファイルの特定」画面で［場所を指定］をチェックし、［次へ］をクリックする。

❼ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❽ ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW5400N￥DISK4」と入力します。

❾ 「ドライバファイルの検索」画面で、内容を確認し［次へ］をクリックする。

インストールを開始します。

❿「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、［完了］をクリックする。

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［いいえ］をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（30ページ）で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルを削除してしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーを削除できません。印刷が終了してから削除してください。

Windows Vista、Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2008、Windows Server 2003 日本語版

❶ ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。Windows Vista、Windows Server 2008 、Windows 2000の場合は［プリンタ］フォルダーを開きます。

❷ ［NEC MultiWriter5400N］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。

❹ ［プリンタ］ダイアログボックスで［はい］をクリックする。

MultiWriter5400Nのプリンターアイコンが削除されます。

❺ ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。

［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

❻ ［ドライバ］タブをクリックする。

❼ ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter5400N］をクリックする。

❽ ［削除］をクリックする。

❾ 削除の確認メッセージをよく読んで削除をする。

MultiWriter5400Nのプリンタードライバーが削除されます。なお、Windows VistaおよびWindows Server 2008の場合は削除する内容を選択できます。いずれかを選んでください。

プリンタードライバーが使用中であることを示すメッセージが表示された場合は、OSの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter5400N］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。

［プリントサーバーのプロパティ］を閉じます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0 日本語版

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

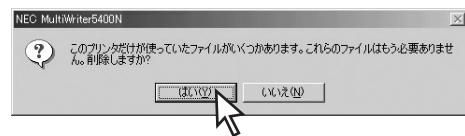
インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

❷ ［NEC MultiWriter5400N］アイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。

❹ ［プリンタ］ダイアログボックスで［はい］をクリックする。

MultiWriter 5400Nのプリンタードライバーが削除されます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 5400Nのプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に、5章の「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」（75ページ）をお読みください。

❶ ［コントロールパネル］フォルダーを開く。

❷ ［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は［アプリケーションの追加と削除］をクリックします。

❸ ［PrintAgentオプション選択］ダイアログボックスを開く。

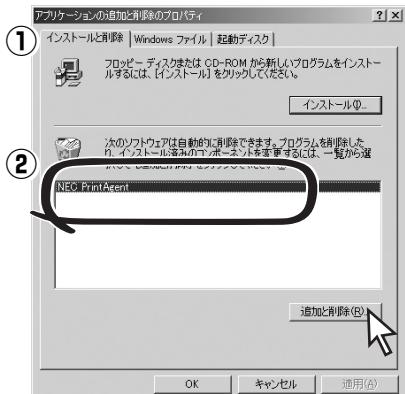
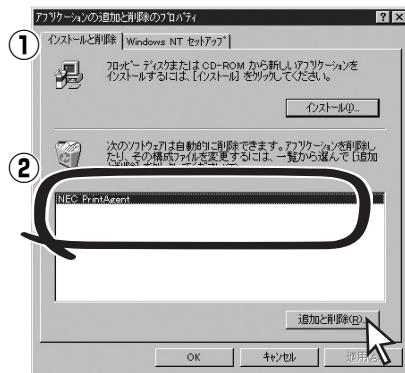
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

① 左側の［機能選択］バーから［プログラムの変更と削除］をクリックする。

② ［NEC PrintAgent］を選んで、［変更/削除］をクリックする。

<Windows Me、Windows 98、WIndows 95、Windows NT 4.0の場合>

① ［インストールと削除］シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から［NEC PrintAgent］を選んで、［追加と削除］をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95

Windows NT 4.0

❹ 対象機種を選択してからチェックを変更し、［次へ］をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

- 他のMultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ ［設定完了］ダイアログボックスで［完了］をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ ［セットアップ開始］ダイアログボックスで［OK］をクリックする。

❼ 追加・削除が終了したら［OK］をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

❽ すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から［NEC PrintAgent］が削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。

機能の紹介

本プリンターにはいろいろな機能があります。様々な機能を組み合わせてMOPYINGしたり、ネットワーク環境でMultiWriterを一元管理することなどができます。ここではその便利な機能について紹介します。各機能の詳細、および設定方法については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「便利なプリント機能を使いたい」またはヘルプをご覧ください。

プリンタードライバーの便利な機能

機　能	機能の説明	設定するシート＊[1]
両面印刷する	用紙の表面と裏面に印刷します。	［メイン］シート
		［レイアウト］シート
複数ページ印刷する	複数のページを1枚の用紙に印刷します。	［メイン］シート
		［レイアウト］シート
仕分け印刷する	丁合い、電子ソートを使用して、出力した用紙を仕分けします。	［メイン］シート、［用紙］シート、［プリンタの設定］シート
		［用紙］、［出力制御］、［プリンタの構成］
拡大・縮小印刷する	用紙の大きさを変えたり、変えないで、拡大・縮小印刷します。	［用紙］シート、［プリンタの設定］シート
		［用紙］シート
よく使う設定を登録する	かんたん設定を使用して、よく使う設定を登録しておきます。	［メイン］シート
		－
印刷位置をずらす	印刷する位置を任意の位置にずらして印刷します。	［その他］シート
		［レイアウト］シート
スタンプを押す	各ページに任意のスタンプを押します。	［メイン］シート
		［レイアウト］シート
ヘッダー・フッターをつける	ユーザー名や日付などをヘッダーまたはフッターとして印刷します。	［メイン］シート
		［レイアウト］シート
OHPの間に紙を挟む	OHPシートとの間に任意の紙を挟み込みます。	［用紙］シート
		［用紙］シート
ページ単位で給紙先を変更する	ページ毎に給紙先を選択します。	［用紙］シート
		［用紙］シート
ユーザー名を表示する	プリンターの操作パネルに利用中のユーザー名を表示させせます。	［その他］シート
		［補助機能］シート
定形外用紙サイズの用紙に印刷する	69.8～216×116～356mmの範囲の用紙サイズに印刷することができます。	［用紙］シート
		［用紙］シート

＊[1] 上段：Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0
下段：Windows Me、Windows 98、Windows 95

PrintAgent*1の便利な機能

機　能		機能の説明
	リプリントする	PrintAgentリプリント2を使用して、一度印刷した文書をアプリケーションを起動せず再印刷します。
	文書を結合する	PrintAgentリプリント2を使用して、一度印刷した別々の文書を自由に組み合わせたり、結合したりして印刷します。
	「PrintAgent」ツールバー	ボタン操作でPrintAgentの機能を表示させせることができます。
	プリンターの状態や印刷状況を見る	プリンタステータスウィンドウを使用して、プリンターの状態をコンピューター上で確認することができます。
	プリンターを自動切り替えする	グループプリンタを使用して、自動的に空いているプリンターから印刷します。
	保守情報をメール通知する	プリンターの保守情報を管理者にメールで通知します。
	印刷履歴状況を出力する	プリントサーバーで管理している印刷履歴の状況をPrintAgentから保存します。
	ブラウザーでプリンターの状況を見る	ブラウザーを使用して、プリンターの状態をコンピューターで確認することができます。
	プリンタードライバーをバージョンアップする	すでにインストールされているプリンタードライバーをCD-ROMやネットワークからバージョンアップできます。

*1　PrintAgentは、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP（64ビット版）、およびWindows Server 2003（64ビット版）には対応していません。

プロパティシートの説明

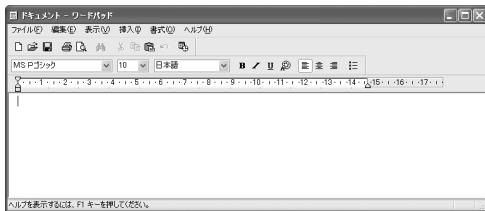
本プリンターのプリンタードライバーには、様々な機能を利用するために複数のプロパティシートが用意されています。表示されるプロパティシートはOSによって異なります。ここでは、アプリケーションのメニューから表示した場合の各プロパティシートについて説明します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。また、プリンターソフトウエアCD-ROMにある「活用マニュアル」では、これらのプロパティシートの設定を使った便利なプリント機能について説明しています。併せてご覧ください。

タブをクリックすると、そのシートが表示されます。

OS	シート名	説　明
Windows Vista、 Windows XP、 Windows Server 2008、 Windows Server 2003、 Windows 2000、 Windows NT 4.0	［メイン］	複数ページ印刷、両面印刷、リプリント、かんたん設定、スタンプ、ヘッダー /フッター、丁合いを設定するシートです。
	［用紙］	用紙サイズや種類、印刷部数、給紙方法、印刷向き、出力方法を設定するシートです。
	［その他］	網かけのパターン、ハーフトーンカラーの調整、印刷の品質や濃度、フォント、印刷位置などの設定やプリンターの最新情報を取得する（双方向通信時）シートです。
Windows Me、 Windows 98、 Windows 95	［用紙］	用紙のサイズや種類、印刷部数、給紙方法、印刷向き、出力方法を設定するシートです。
	［出力制御］	両面印刷、リプリント、丁合いを設定するシートです。
	［レイアウト］	複数ページ印刷、印刷位置、スタンプ、ヘッダー /フッターを設定するシートです。
	［グラフィックス］	グラフィックの解像度、濃度、描画方法などを設定するシートです。
	［フォント］	フォントについての設定を行うシートです。
	［印刷品質］	印刷の濃度、従来互換の印刷範囲の使用などを設定するシートです。
	［フォーム］	フォーム印刷を行うかどうかを設定するシートです。
	［補助機能］	印刷中にユーザー名や任意の文字をプリンターの操作パネルに表示するかどうか、MOPYING設定ウィンドウを表示するかどうかを設定するシートです。
	［プリンタの構成］	プリンターにオプションのホッパーを増設した場合に設定するシートです。（双方向通信時は自動的に設定されます。）
	［プリンタの状態］	印刷しようとしているプリンターの名前、解像度、メモリ、現在の構成が表示されます。

印刷方法

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。その他のWindowsの場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

❶ **[スタート]メニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。**

❷ **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。**

❸ **[印刷]ダイアログボックスの[プリンタの選択]に[NEC MultiWriter5400N]が選択されていることを確認する。**

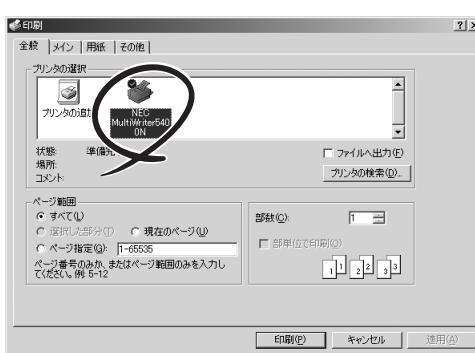
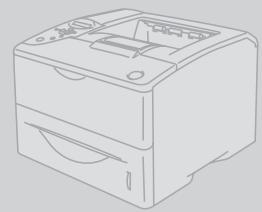
選択されていなければ、[プリンタの選択] から [NEC MultiWriter5400N] を選択してください。

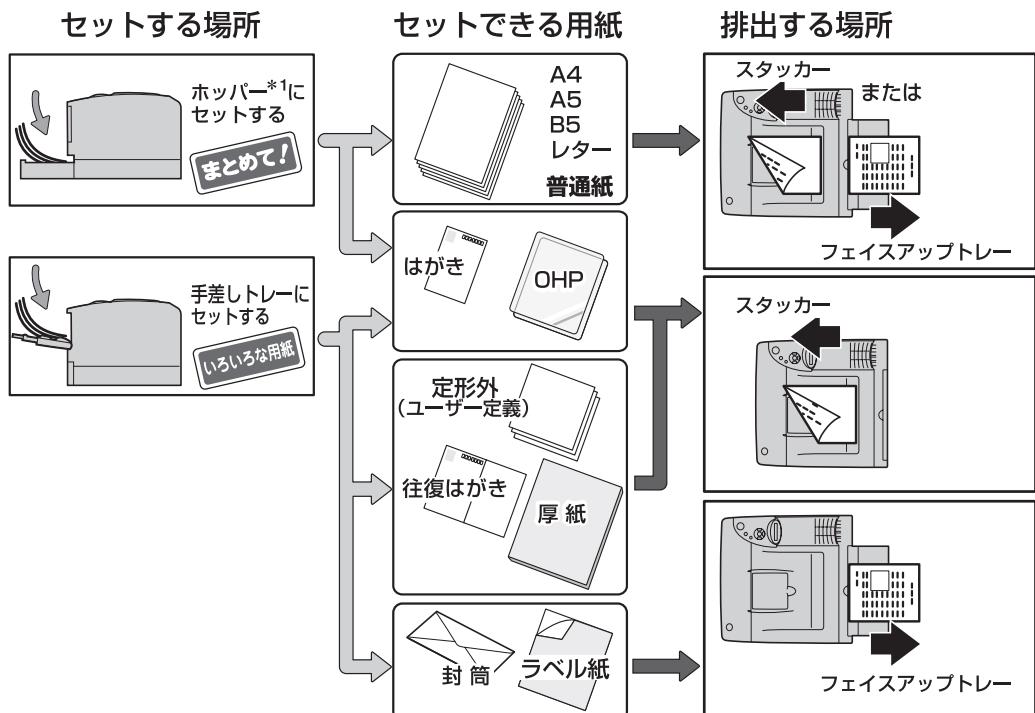
Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008/Windows Server 2003

Windows 2000

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合は、[プリンタ名] から [NEC MultiWriter5400N] を選択してください。

Windows Me/98/95、Windows NT 4.0

❹ **必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。**

3章
用紙のセット

この章では、MultiWriter 5400Nで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。MultiWriter 5400Nはホッパーと手差しトレーから用紙を給紙できます。用途に合わせて使い分けてください。

MultiWriter 5400Nでは大量給紙をするのに便利なリレー給紙機能が利用できます。ホッパー、手差しトレー、増設ホッパーに用紙をセットし、印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じサイズの用紙がセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」の「増設ホッパー」をご覧ください。

＊1　増設ホッパーについては次ページを参照してください。

用紙について

ここではMultiWriter 5400Nで使用できる用紙および注意事項などについて説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照してください。

セットできる用紙		給紙口			排紙口	
種類	種別／サイズ	手差しトレー	標準ホッパー	増設ホッパー*1	スタッカー	フェイスアップトレー
普通紙	普通紙（坪量60～80g/m^2） A4、B5、A5、レター	100 枚	500 枚*2	500 枚	250 枚	50 枚
	普通紙（坪量80～105g/m^2） A4、B5、A5、レター	80 枚*2	400 枚*2	400 枚*2	150 枚	50 枚
	普通紙（坪量60～105g/m^2） 定形外*3	100 枚*2，*4	―	―	250 枚*4，*5	50 枚
	厚紙（坪量105～161g/m^2） A4、B5、A5、レター、定形外*3	50 枚*2	―	―	50 枚*5	―
特殊紙	ラベル紙	1 枚	―	―	―	1 枚
	OHP フィルム	10 枚	10 枚	―	10 枚	―
	封筒	10 枚	―	―	―	10 枚
	官製はがき	30 枚	30 枚	―	30 枚	―
	官製往復はがき	30 枚	―	―	30 枚	―

*1　オプションの増設ホッパーの取り付け方については、活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」を参照してください。
*2　各給紙口にある最大給紙容量マーク（▽）を越えない枚数をセットしてください。
*3　定形外用紙サイズは、幅69.8～216×長さ116～356mmの範囲です。
*4　坪量80～105g/m^{2}の場合は給紙が80枚、排紙が150枚となります。
*5　スタッカーへ排出する場合の用紙の長さは148～356mmです。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については50ページ～51ページに記載していますので、併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 酸性紙
  - 無塵紙
  - 裏写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙

- シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- のりが付いている封筒
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
- 次のような状態のラベル紙
  台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
- すでに一度印刷した用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む）
- 横目の用紙（縦目の用紙を使用してください）

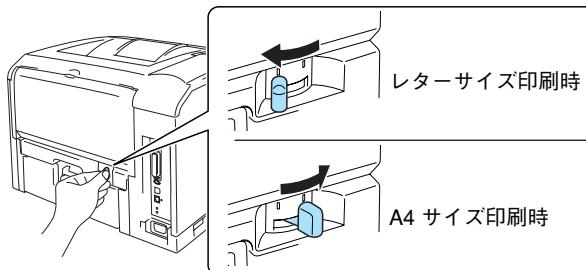
• はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

用紙のセット方向

用紙は、縦置きにセットしてください。ただし、往復はがきを手差しトレーにセットする場合は、横置きにしてください（「はがき、往復はがき」（50ページ）参照）。

両面印刷について

• 両面印刷ができる用紙は、A4またはレターサイズの普通紙（60～105g/m^2）です。

• セットする用紙サイズに合わせて両面印刷用紙切り替えレバーを切り替えてください。

• 両面印刷用紙切り替えレバーの位置が適切にセットされていないと紙づまりの原因になります。また、ホッパーから給紙するときは、メニューモードで設定した用紙サイズとレバーの位置が合っていないと操作パネルによる両面印刷の切り替えはできません。

• 通常プリンタードライバーおよびメニューモードの用紙種別は「普通紙」を選択してください。もし、カール量が大きい場合、もしくはしわが発生した場合には「薄紙」を選択してください。

• 両面印刷の場合は、スタッカーへ排紙されます。フェイスアップトレーへ排紙することはできません。

用紙種別の設定について

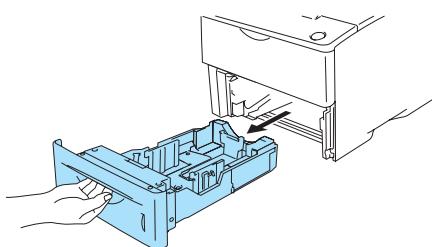
• 坪量60～80g/m^2の普通紙の場合、通常プリンタードライバーおよびメニューモードの用紙種別は「普通紙」を選択してください。もし、カール量が大きい場合、もしくはしわが発生した場合には「薄紙」を選択してください。

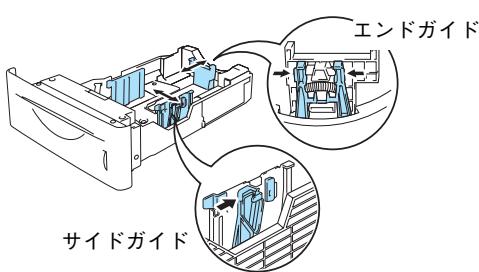
• 坪量105～161g/m^2の厚紙の場合、通常プリンタードライバーおよびメニューモードの用紙種別は「厚紙1」を選択してください。もし、印刷品位が低下した場合には「厚紙2」を選択してください。

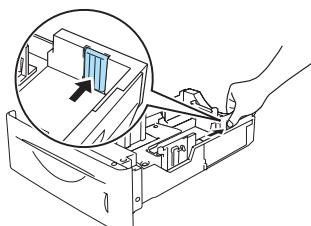
ホッパーに用紙をセットする

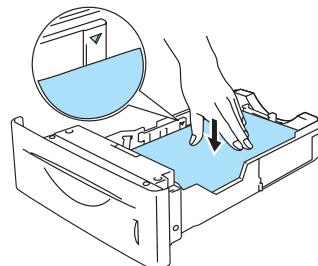
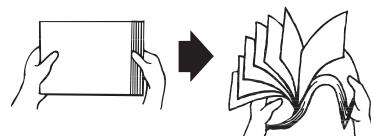
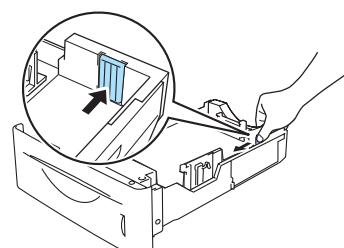
ホッパーから印刷するには、用紙カセットに用紙をセットします。用紙は普通紙（坪量60～80g/m^2）なら500枚までセットできます。OHPフィルムなら10枚まで、はがきなら30枚までセットすることができます。用紙のサイズやオプションの増設ホッパーにセットできる用紙など、詳細は「使用できる用紙」（44ページ）を参照してください。

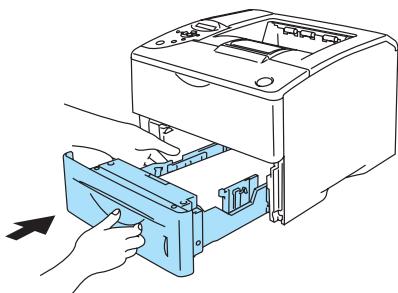
重要

- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 用紙カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となるおそれがあります。

❶ 用紙カセットを引き出す。

❷ サイドガイドロックレバーとエンドガイドをそれぞれ押しながらスライドさせ、サイドガイドとエンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。

大量の用紙をまとめてセットする場合は、青いボタンを押してロックを解除した後、ゆっくりとまっすぐにトレーを引っ張ってください。

トレーが止まるまでゆっくりと引き延ばします。止まるとトレーがロックされます。

❸ 印刷面を下、用紙の上端が手前側になるようにして用紙をセットする。

用紙を平らにセットして、最大給紙容量のマークを越えていないことを確認してください。

OHPフィルムの場合はセットする前に、紙づまりやピックミスを避けるため、図のようにOHPフィルムをパラパラとめくります。

❹ 青いボタンを押しながら、カセットを用紙サイズに合わせて、カチっと音がするまで縮める。

❺ **用紙カセットをプリンターにセットする。**

重要

用紙を大量にセットした用紙カセットは重くなっています。用紙カセットを取り付けるときは、両手で持って取り付けてください。

❻ **フェイスアップトレーに排紙したい場合は、フェイスアップトレーを開く。**

「排出口を切り替える」（49ページ）を参照して、フェイスアップトレーをセットしてください。

ホッパーからフェイスアップトレーに排紙できる用紙は、普通紙のみです。

❼ **A4サイズまたはレターサイズの普通紙をセットした場合は、メニューモードの「ヨウシメニュー」の「ヨウシサイズ」で用紙カセットにセットしたサイズを指定する。**

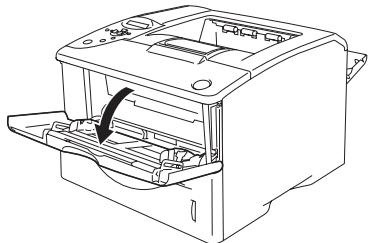
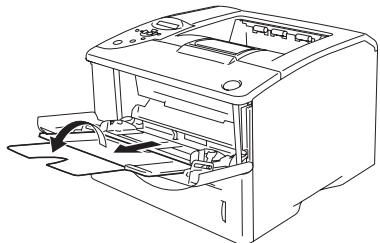
メニューモードの詳細については、活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」を参照してください。

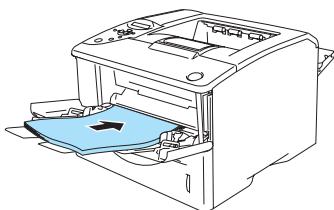
手差しトレーに用紙をセットする

手差しトレーには、普通紙の他にラベル紙をはじめ、厚紙（坪量105～161g/m^2）、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットし、印刷することができます。手差しトレーの容量は普通紙で100枚です。厚紙は50枚、はがき、往復はがきは30枚、OHPフィルムや封筒は10枚、ラベル紙は1枚までセットすることができます。各用紙のサイズなど、詳細は「使用できる用紙」（44ページ）を参照してください。

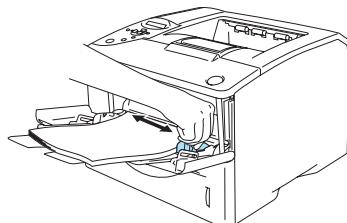
重要

- 手差しトレーにセットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）を手差しトレーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 手差しトレーにセットした時は、手差しトレーの用紙サイズを操作パネルまたはプリンタードライバーで設定する必要があります。プリンタードライバーの設定はプロパティの「用紙」シートで行います。「用紙」シートの「給紙方法」を「手差し」に設定し、セットした用紙サイズを「原稿設定」の「用紙サイズ」で設定してください。操作パネルの設定は、活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」の「スイッチ」を参照し、給紙先を「テサシ」に設定し、用紙サイズを設定してください。
- 封筒およびラベル紙は、フェイスアップトレーへの排紙のみです。スタッカー（フェイスダウン）への排紙はできません。
- はがき、往復はがき、OHPフィルム、および厚紙の印刷は、スタッカー（フェイスダウン）への排紙のみです。フェイスアップトレーへの排紙はできません。
- 定形外用紙サイズは幅69.8～216mm、高さ（長さ）116～356mmです。ただし、長さによって排出先が異なります。詳しくは「定形外用紙」（51ページ）を参照してください。

❶ **手差しトレーを手前にゆっくりと開く。**

❷ **手差しトレーサポートを開いて、手前に倒す。**

❸ **印刷面を上、用紙の上端が奥側（プリンター側）になるようにして、用紙をセットする。**

用紙の上端が、手差しトレーの奥に軽く突き当たるまで差し込んでください。

重要

- セットできる用紙の容量を超えないようにしてください。紙づまりの原因となります。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。まっすぐにセットされていないと、ピックミスや紙づまりの原因となります。

❹ **つまみを押さえながらサイドガイドをスライドさせて、サイドガイドを用紙のサイズに合わせる。**

❺ **封筒またはラベル紙を印刷する場合、または普通紙をフェイスアップトレーへ排紙したい場合は、フェイスアップトレーを開く。**

次の「排出口を切り替える」を参照して、フェイスアップトレーをセットしてください。

- 普通紙は、フェイスアップトレーおよびスタッカーのどちらへも排紙できます。
- 封筒およびラベル紙は、フェイスアップトレーへの排紙のみです。スタッカー（フェイスダウン）への排紙はできません。
- はがき、往復はがき、OHPフィルム、および厚紙の印刷は、スタッカー（フェイスダウン）への排紙のみです。フェイスアップトレーへの排紙はできません。

❻ **封筒をセットした場合は、背面の青いレバーを倒す。**

「封筒」（51ページ）を参照して、青いレバーを倒してください。

❼ **プリンタドライバで給紙方法を「手差し」に設定し印刷する。**

プリンタドライバを使用せず手差しトレーから印刷を行う場合は、操作パネルで給紙先を「テサシ」に設定してください。給紙方法は活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」の「スイッチ」をご覧ください。なおプリンタドライバで給紙方法を設定した場合、操作パネルによる設定は必要ありません。

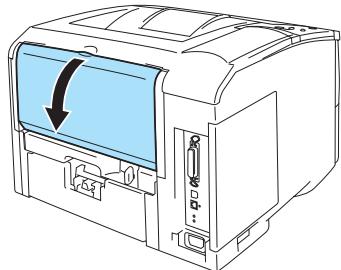
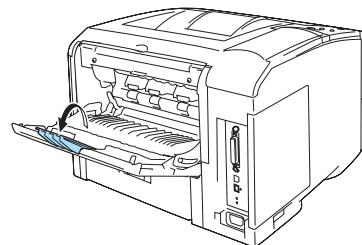
排出口を切り替える

ラベル紙、および封筒、普通紙をフェイスアップで印刷する場合は、リアカバー（フェイスアップトレー）を開いてください。

✔チェック

- 普通紙は、フェイスアップトレーおよびスタッカー（フェイスダウン）のどちらででも印刷できます。
- 両面印刷する場合は、フェイスアップトレーへ排紙することはできません。
- はがき、往復はがき、OHP フィルム、および厚紙の印刷は、スタッカー（フェイスダウン）のみです。フェイスアップトレーへの排紙はできません。
- 封筒およびラベル紙は、フェイスアップトレーへの排紙のみです。スタッカー（フェイスダウン）への排紙はできません。
- 「定形外用紙」（51ページ）を参照して、用紙の高さに合わせて排出先を確認してください。

❶ プリンター本体背面にある取っ手に手をかけて軽く手前に引く。

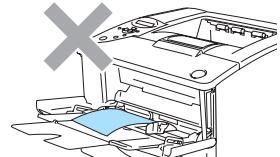
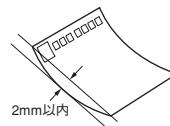
フェイスアップトレーが開きます。

❷ 排紙する用紙の高さ（長さ）に応じてペーパーサポートを引き出す。

ラベル紙に印刷したときは、1枚おきにフェイスアップトレーから取り除いてください。封筒の場合は10枚、その他の用紙では50枚を目安にしてください。

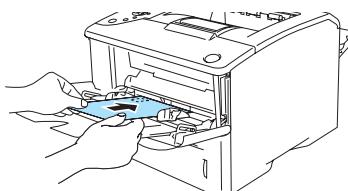
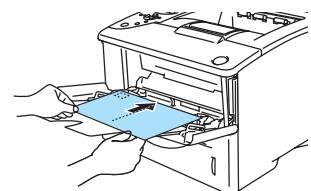
用紙をセットする時の注意

はがき、往復はがき

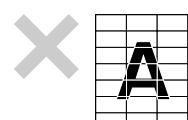
重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態で手差しトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 官製はがきまたは往復はがきと同等の寸法および坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。
- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙を手差しトレーにセットする場合は、反りの方向を直して（反っている凸面を下にして）セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏写り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめて手差しトレーにセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- はがきや往復はがきを手差しトレーにセットする向きを、それぞれ右図に示します。

はがき 縦置き

往復はがき 横置き

OHPフィルム、ラベル紙

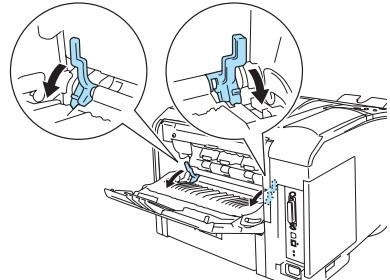
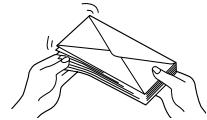
- OHPフィルムは乾式PPC用で表面処理がされているものを使用してください。
- OHPフィルムは十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しトレーに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は乾式PPC用で台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

封筒

重要

フラップ（封筒の折り返し部分）面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしのものをご使用ください。ただし封筒の材質によりご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ（封筒の折り返し部分）をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、プリンター内部で用紙を正しく送れない場合があります。
- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。
- 手差しトレーにセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

- 封筒を印刷する前に、プリンター背面のリアカバーを開き、プリンター内部の2つの青いレバーを手前に倒して印刷してください。

倒した青いレバーは、手で起こすか、リアカバーを閉じることで元の状態に戻ります。手差しトレーからの封筒の印刷が終わったら、青いレバーを戻してください。

厚紙

- 厚紙として使用できる用紙は、坪量105～161g/m^{2}のものです。
- 手差しトレーにセットしてください。
- プリンタードライバーおよびメニューモードの用紙種別で［厚紙1］を指定してください。印刷品質が低下した場合はプリンタードライバーおよびメニューモードの用紙種別で［厚紙2］を指定して、再度印刷してください。

定形外用紙

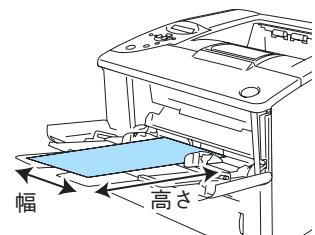
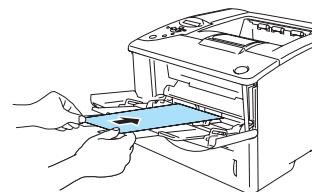
定形外用紙についての注意事項と印刷手順を説明します。

定形外用紙の注意事項

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 印刷できる用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。

- 種類、繊維目方向によっては印刷後に大きくカールするものがあります。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- 定形外用紙の用紙サイズは、幅69.8～216mm、高さ116～356mmです。ただし、スタッカーへの排出（フェイスダウン出力）の場合は、高さが148～356mmです。

手差しトレーにセットできる用紙サイズ		排出先
幅	高さ（長さ）	
69.8～216mm	148～356mm	スタッカー
69.8～216mm	116～356mm	フェイスアップトレー（リアカバー）

- 定形外用紙は、手差しトレーに縦置きにセットしてください。

定形外用紙への印刷手順

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

Step 1　定形外用紙をセットする

手順は、「手差しトレーに用紙をセットする」（47ページ）を参照してください。操作パネルでの設定は必要ありません。

Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

- Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。

<Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

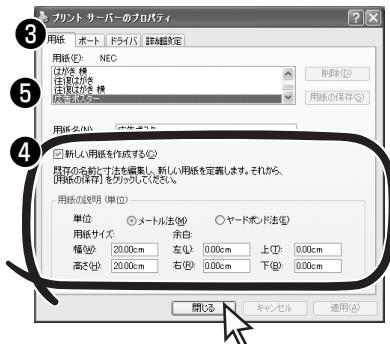
Windows XP以外の場合は、［プリンタ］フォルダーを開きます。

❷ **［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

❸ **［用紙］シートを開く。**

❹ **［新しい用紙を作成する］をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、［用紙の保存］をクリックする。**

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅69.8～216mm、高さ116～356mm）を設定してください。

❺ **ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［閉じる］または［OK］をクリックする。**

Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **使用するプリンターのアイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから［ユーザ定義］を選ぶ。**

［ユーザ定義］を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。

❺ **用紙の［幅］と［長さ］を入力し、［OK］をクリックする。**

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅69.8～216mm、高さ116～356mm）を設定してください。

❻ **［OK］をクリックし、［プロパティ］ダイアログボックスを閉じる。**

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

＜Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

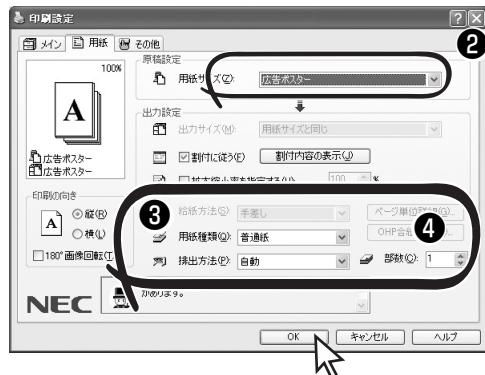
アプリケーションによっては、この手順後に［印刷］ダイアログボックスの［詳細設定］または、［プロパティ］をクリックします。

❷ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

- 定形外用紙を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。
- 坪量105g/m^{2}を超える用紙の場合［用紙種類］ボックスで［厚紙1］を指定してください。印刷品位が低下した場合は［厚紙2］を指定してください。

❸ **［用紙種類］と［排紙方法］を指定する。**

用紙サイズが高さ116〜148mm未満の場合はスタッカーへの排出は行えません。

❹ **印刷部数を指定し、［印刷］（または［OK］）をクリックする。**

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［プロパティ］をクリックする。**

❸ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、［ユーザ定義］を選択する。**

- ［ユーザ定義］を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。
- 坪量105g/m^{2}を超える用紙の場合［用紙種類］ボックスで［厚紙1］を指定してください。印刷品位が低下した場合は［厚紙2］を指定してください。

❹ **［ユーザ定義サイズ］ダイアログボックスで［幅］と［長さ］を確認し、［OK］をクリックする。**

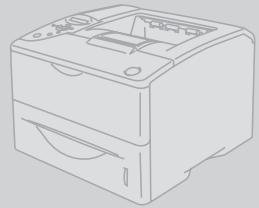
❺ **［用紙種類］と［排紙方法］を指定する。**

用紙サイズが高さ116〜148mm未満の場合はスタッカーへの排出は行えません。

❻ **印刷部数を指定し、［OK］をクリックする。**

手差しトレーから給紙について

手差しトレーで定形外用紙に印刷した後、操作パネルで給紙先を「手差し」に設定すると、ディスプレイに「テサシ　テイケイガイ　ポート」と表示されます。この表示は、プリンターが手差しトレーの用紙サイズを「定形外用紙」と認識したことを表しています。次に定形用紙を印刷すると操作パネルでは「テイケイガイ」を選択できなくなります。

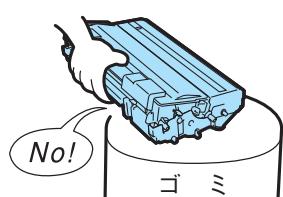
4章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、本プリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

ドラムユニット・トナーカートリッジの交換

- ディスプレイに“87　ドラムジュミョウ　ドラムユニットコウカン”が表示された場合は、プリンターが停止し、ドラムユニットの交換時期を示しています。速やかにドラムユニットを交換してください（「ドラムユニットの交換手順」（58ページ）参照）。
- ディスプレイに“89　トナージュミョウ　トナーカートリッジコウカン”が表示された場合は、印刷途中でもプリンターが停止し、トナーカートリッジの交換時期を示しています。トナーカートリッジを交換してください（「トナーカートリッジの交換手順」（56ページ）参照）。
- ディスプレイに“76　トナーナシ　トナーカートリッジコウカン”が表示された場合は、トナー残少を示しています。“89　トナージュミョウ”が表示される前に速やかにトナーカートリッジを交換してください。また、交換する前に使用中のドラムユニットをプリンターから取り出し、ドラムユニットごと左右に2、3回ゆっくりと振り、再びプリンターに取り付けて印刷可スイッチを押してください。“89　トナージュミョウ”が表示されるまで印刷を継続することができます。
- ［電源／トナー］ランプが赤色に点灯前でも、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けるような場合には、ドラムユニットを取り出して、左右に2、3回ゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

ドラムユニット・トナーカートリッジの回収と購入

回収について

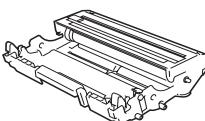
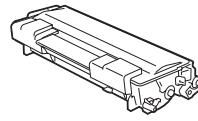
ご使用済みのNEC製トナーカートリッジおよびドラムユニットは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製トナーカートリッジおよびドラムユニットを無理に開けないでください。また、捨てずにトナーカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はトナーカートリッジおよびドラムユニットの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。
(トナーカートリッジおよびドラムユニット回収に関するWebページ「ECOLOGY＆TECHNOLOGY」
URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/ep_recycle.html)

購入について

新しいドラムユニットおよびトナーカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

このプリンターは、純正のドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用時に印刷品質やプリンター性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のドラムユニットまたはトナーカートリッジを使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、ドラムユニットおよびトナーカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。
お買い求めの際には次の「ドラムユニット・トナーカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したドラムユニットおよびトナーカートリッジをお選びください。

ドラムユニット・トナーカートリッジの種類

MultiWriter 5400Nでお使いになれるドラムユニットおよびトナーカートリッジは以下のとおりです。購入した時に添付されているドラムユニットはPR-L1500-31（相当品)、トナーカートリッジはPR-L1500-11（相当品）です。

ドラムユニット（型番 PR-L1500-31)：印刷可能ページ数は約30,000枚です。

トナーカートリッジ（型番 PR-L1500-11)：印刷可能ページ数は約7,500枚です。

- ドラムユニットおよびトナーカートリッジの１個あたりの印刷可能ページ数はA4サイズの用紙に画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。(「トナーカートリッジの寿命」(58ページ）参照)
- 印刷した用紙のサイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

トナーカートリッジの交換手順

ディスプレイが“89　トナージュミョウ　トナーカートリッジコウカン”と表示した場合はトナーカートリッジを速やかに交換してください。

- このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません)。
- トナーカートリッジは絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

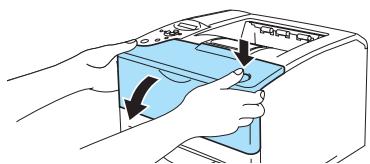
⚠注意 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびトナーカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

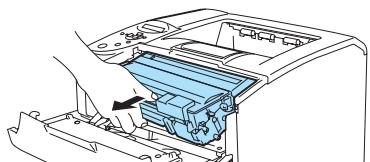
重要

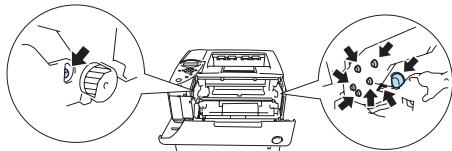
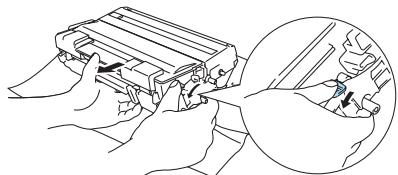
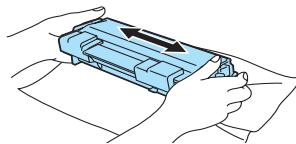
交換の際は、ドラムユニットに強い光が当たるような場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

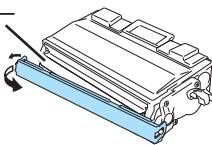
❶ 電源スイッチをOFFにする。

［電源／トナー］ランプが消灯します。

❷ 本体カバーボタンを押して本体カバーを開ける。

❸ ドラムユニットを取り出す。

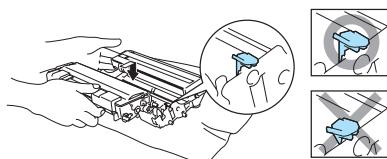
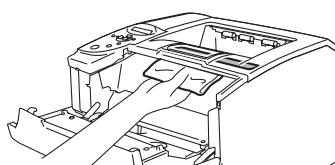
ドラムユニットは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

チェック

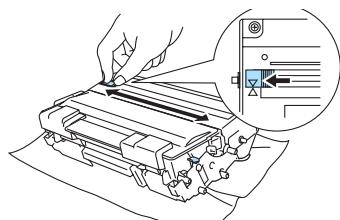
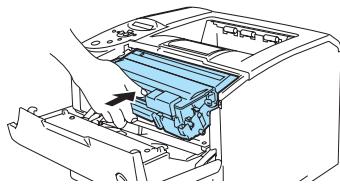
- トナーがこぼれた場合に備え、床やテーブルなどを汚さないよう、取り出したドラムユニットは、不要な用紙や布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によるプリンターの故障をさけるため、図に示す電気機構部分には触れないでください。

❹ ドラムユニットの青いロックレバーを押さえながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す。

❺ 新しいトナーカートリッジを袋から取り出し、トナーカートリッジのトナーを均一にするため、水平に持って5〜6回程度、図に示す方向にゆっくり振る。

NEC製トナーカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しています。トナーカートリッジの回収については55ページをご覧ください。

❻ プロテクトカバーを外す。

チェック

トナーカートリッジのローラーに触らないでください。印刷品質が低下するおそれがあります。

❼ 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに取り付ける。

正しく取り付けられると「カチッ」と音がして、レバーが自動的に上がります。

❽ 乾いた柔らかい布で、スキャナーウィンドウをやさしくふく。

❾ **ドラムユニットの青いタブを2、3回スライド（往復）させたら、▲の印の位置にタブを戻す。**

青いタブをスライドさせることで、ドラムユニットを清掃します。この手順を行わないと印刷結果にスジ（縦線）が入ることがあります。

❿ **ドラムユニットをプリンターにセットして、本体カバーを閉じる。**

トナーカートリッジの寿命＊1

MultiWriter 5400Nに添付されているトナーカートリッジ（PR-L1500-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）5%の片面連続印刷を行ったとき約7,500枚になります（画像面積比率によらず最長9,000枚）。以下は、画像面積比率＊2 5%を目安とした文書例です。

トナーカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「トナーカートリッジ」には寿命７５００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５％の意味及びトナーカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

トナーカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのトナーカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばトナーカートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです）。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。１ページの中に印刷が全くない状態が０％、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００％です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何％のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５％より高い場合、６０００枚印刷する前にトナーカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５％相当の目安となります。

＊1 トナーカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。

＊2 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

ドラムユニットの交換手順

ディスプレイが“87　ドラムジュミョウ　ドラムユニットコウカン”と表示した場合は、ドラムユニットを速やかに交換してください。

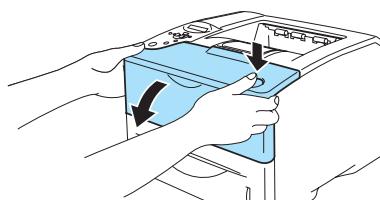
⚠ 注意

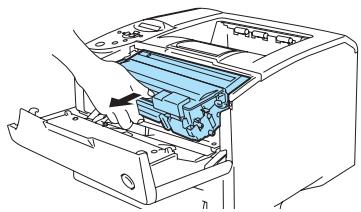
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびトナーカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- トナーカートリッジは絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

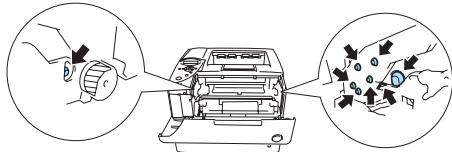
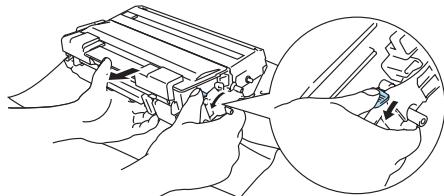
交換の際は、ドラムユニットに強い光が当たるような場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

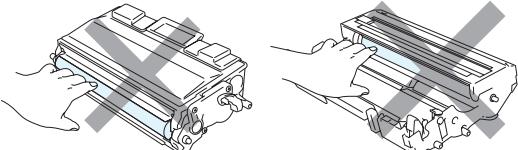
❶ **電源スイッチをOFFにする。**

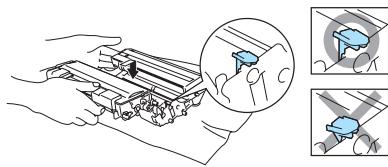
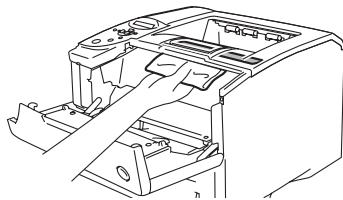
［電源／トナー］ランプが消灯します。

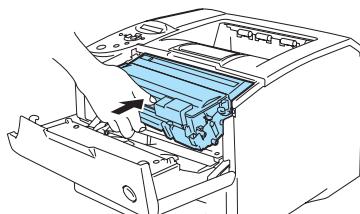
❷ **本体カバーボタンを押して本体カバーを開ける。**

❸ **ドラムユニットを取り出す。**

ドラムユニットは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

チェック

- トナーがこぼれた場合に備え、床やテーブルなどを汚さないよう、取り出したドラムユニットは、不要な用紙や布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によるプリンターの故障をさけるため、図に示す電気機構部分には触れないでください。

❹ **ドラムユニットの青いロックレバーを押さえながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す。**

❺ **新しいドラムユニットを袋から取り出す。**

トナーカートリッジのローラーおよびドラムユニットのローラーに触らないでください。印刷品質が低下するおそれがあります。

❻ **新しいドラムユニットにトナーカートリッジを取り付ける。**

正しく取り付けられると「カチッ」と音がして、レバーが自動的に上がります。

❼ **乾いた柔らかい布で、スキャナーウィンドウをやさしくふく。**

❽ **ドラムユニットをプリンターにセットして、本体カバーを閉じる。**

❾ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

［電源/トナー］ランプが点灯し、ディスプレイの照明が緑色に変わったことを確認してください。

❿ **［シフト］スイッチを押しながら［ジョブキャンセル］スイッチを2秒以上押す。**

⓫ **ディスプレイのメッセージが“ドラムユニット　コウカン　クリア”から“クリアジッコウ”に変わったらスイッチを放す。**

清掃

MultiWriter 5400Nを正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

警告

- このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。
- ドラムユニットまたはトナーカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

注意

- プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチをOFFにして、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチをOFFにせずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびトナーカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

プリンター本体の清掃

❶ **電源スイッチをOFFにする。**

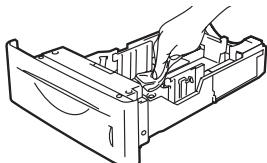
［電源／トナー］ランプが消灯します。

❷ **電源プラグをコンセントから抜く。**

❸ **用紙カセットを抜き出す。**

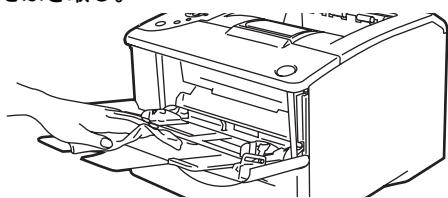
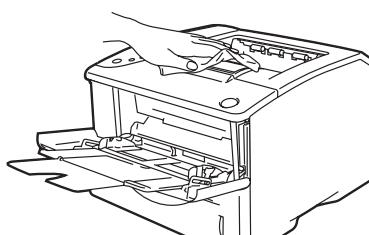
オプションの増設ホッパーを取り付けている場合も、同様の手順で清掃してください。

❹ **乾いた柔らかい布で、用紙カセットの中をふく。**

用紙カスやホコリなどがある場合は取り除いてください。

❺ **用紙カセットをプリンターにセットする。**

❻ **手差しトレーを手前にゆっくりと開く。**

❼ **手差しトレーサポートを開いて、手前に倒す。**

❽ **乾いた柔らかい布で、手差しトレーのほこりををふき取る。**

❾ **乾いた柔らかい布で、プリンターの外部をふく。**

- プリンター本体および用紙カセットは、汚れたときに清掃方法に従って清掃してください。
  ディスプレイに“86　ドラムクリーニング　ドラムユニット”と表示されたときは、ドラムユニットの清掃が必要です。「ドラムユニットの清掃」（61ページ）を参照してください。
- プリンター本体と用紙カセットの清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。

ドラムユニットの清掃

ディスプレイに“86　ドラムクリーニング　ドラムユニット”と表示されている場合は、ドラムユニットの清掃を行ってください。清掃は以下の方法で行います。

取り外したドラムユニットに強い光が当たるような場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

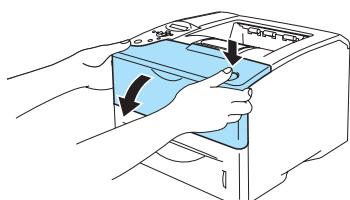
チェック

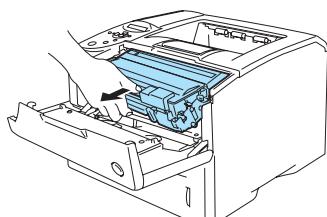
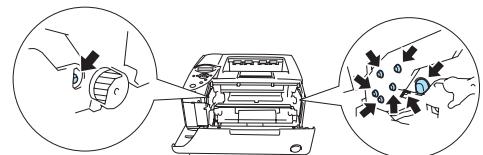
印刷中にドラムの清掃が必要となった場合、印刷を停止してアラームを表示します。清掃を完了した後、ディスプレイに“74　カミヅマリ”または“78　ヨウシピックミス”が表示された場合、印刷途中の用紙がプリンター内部に残っている可能性があります。5章の「紙づまりのときは」（80ページ）を参照して用紙を取り除いてください。

❶ **電源スイッチをOFFにする。**

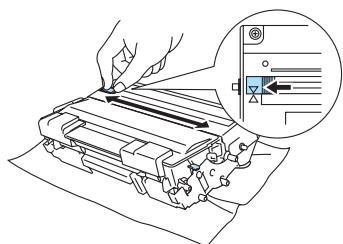
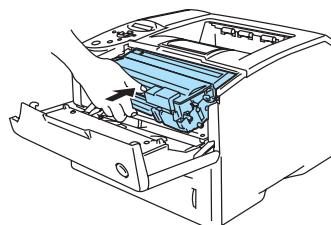
［電源／トナー］ランプが消灯します。

❷ **電源プラグをコンセントから抜く。**

❸ **本体カバーボタンを押して本体カバーを開ける。**

❹ **ドラムユニットを取り出す。**

ドラムユニットは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

- トナーがこぼれた場合に備え、床やテーブルなどを汚さないよう、取り出したドラムユニットは、不要な用紙や布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によるプリンターの故障をさけるため、図に示す電気機構部分には触れないでください。

❺ ドラムユニットの青いタブを数回スライド（往復）させたら、▲の印の位置にタブを戻す。

青いタブをスライドさせることで、帯電ワイヤによりドラムユニットを清掃します。

青いタブは数回スライドさせた後、かならず▲の印の位置に戻してください。タブを戻さないまま取り付けると印刷結果に黒いスジ（縦線）が入ることがあります。

❻ ドラムユニットをプリンターにセットして、本体カバーを閉じる。

❼ 電源プラグをコンセントに差し込み、プリンターの電源をONにする。

ディスプレイの“86　ドラムクリーニング　ドラムユニット”の表示が解除されていれば清掃の完了です。

感光ドラムの清掃

「5章 故障かな？と思ったら」の「印刷に異常が見られるときは」で説明している「約94mmの等間隔で汚れがある」（72ページ）にあてはまる症状が印刷結果に現れている場合にのみ行ってください。

重要

交換の際は、ドラムユニットに強い光が当たるような場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

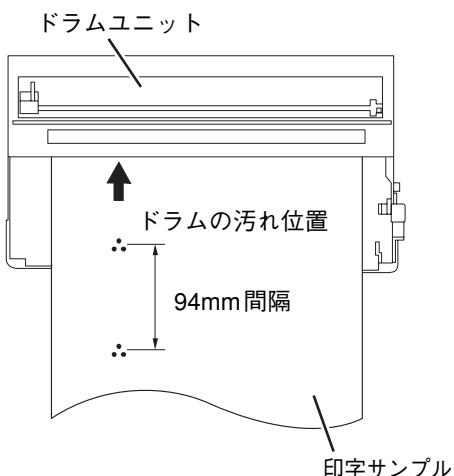
❶ プリンターからドラムユニットを取り出す。

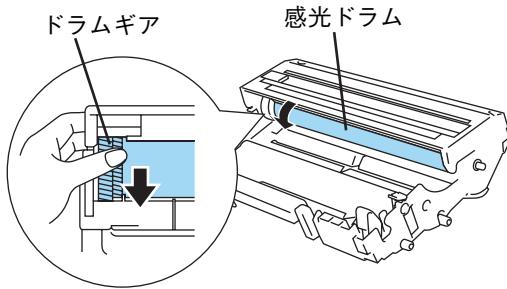
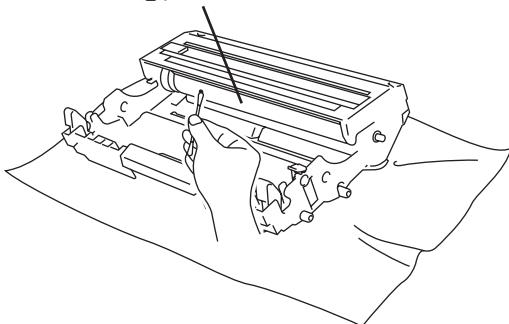
ドラムユニットの取り外しについては、4章の「ドラムユニットの交換手順」（58ページ）を参照してください。

❷ ドラムユニットからトナーカートリッジを取り出す。

トナーカートリッジの取り外しについては、4章の「ドラムユニットの交換手順」（58ページ）を参照してください。

取り外したトナーカートリッジやドラムユニット内からトナーがこぼれないよう注意して取り付けまで保管してください。

❸ ドラムユニットの前に印字サンプルを置いて、画像不良の正確な位置を確認する。

❹ 感光ドラムの表面を見ながら、指でドラムギアを回す。

- 指定方向以外にドラムギアを回さないでください。ドラムユニットが破損する おそれがあります。
- 指が感光ドラムの表面に触れないよう注意してください。印刷品質が低下する原因となります。

❺ 感光ドラムの表面についた紙粉や汚れが落ちるまで綿棒で拭き取る。

重要

- 感光ドラムの表面はボールペンなどの先の尖ったもので清掃しないでください。
- 綿棒で強く拭き取ると、感光ドラムが傷ついたり、印刷品質が低下する原因となったりします。

❻ トナーカートリッジおよびドラムユニットを取り付け直して、テスト印刷を数ページ行う。

印刷結果が改善されない場合は、新しいドラムユニットと交換してください。ドラムユニットの回収と購入については、「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ） を参照してください。

5章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。

- □ 印刷結果の問題 ：「印刷できないときは」（65ページ）、「印刷に異常が見られるときは」（69ページ）
- □ プリンターの問題 ：「アラーム表示が出ているときは」（66ページ）、「紙づまりのときは」（80ページ）
- □ ネットワークの問題 ：「ネットワークで思うように印刷できないときは」（活用マニュアル）
- □ ソフトウエアの問題 ：「PrintAgentを正しく動作させるために」（75ページ）、「リプリント機能が動作しないときは」（活用マニュアル）、「PrintAgentシステムが起動しないときは」（活用マニュアル）、「プリンタステータスウィンドウがおかしいときは」（活用マニュアル）

プリンター本体を運搬するときの方法、プリンター本体および、消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」（Readme.txt）に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
［電源/トナー］ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** → 電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**ディスプレイの照明がオレンジ色に点灯している。** → ［印刷可］スイッチを押して、ディスプレイの照明を緑色に点灯させてください。

症状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）	**プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていない、または正しく接続されていない（プリンター背面のリンクランプ消灯）。** → プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください（1章の「10 ネットワークを設定する」（17ページ）および活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」を参照）。 **改ページまたは排出コードがない（プリンター背面のリンクランプ点灯）。** → ［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **ディスプレイの照明が赤色に変わった。** → 「アラーム表示が出ているときは」（66ページ）をご覧ください。 **データの受信中である（電源/トナーランプ点滅）。** → 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 **MultiWriter 5400Nが「通常使うプリンタ」として選択されていない。** → MultiWriter 5400Nを「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** → コンピューターのメモリーを増やしてください。
用紙カセット（オプション含む）にセットした用紙サイズを認識しない	**用紙のセットのしかたが悪い。** → 3章の「ホッパーに用紙をセットする」（46ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。
手差しトレーから印刷ができない	**給紙方法が自動、ホッパーのいずれかになっている。** → プリンタードライバーの給紙方法を手差しトレーに設定し直してください。
増設ホッパからの給紙で紙づまりが発生する	**用紙カセットの取り替えをしていない。** → 活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」または増設ホッパーに添付の説明書を参照して、プリンターの用紙カセットと増設ホッパーの用紙カセットを取り替えてください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、ディスプレイの照明が赤色に変わり、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。アラーム発生時のディスプレイ表示と色、およびアラームの内容と処理方法については次の表を参照してください。

メモリースイッチ3-8で、アラーム発生時にブザーを鳴らすかどうかを設定できます。メモリースイッチの設定方法は活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」を参照してください。

ディスプレイ		アラームの内容と処理方法
表示	照明	
ホッパ゜　A4フツウシ　PE ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2）が表示されます。 セットする用紙のサイズ・種類が表示されます。	赤	**標準または増設ホッパーに用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** → ディスプレイに表示されているサイズの用紙を、用紙カセットにセットしてください（3章の「ホッパーに用紙をセットする」（46ページ）を参照）。 用紙をセットした後、［印刷可］スイッチを押すと印刷が再開されます。1秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は自動的に印刷が再開されます。 **サイドガイドやエンドガイドが正しくセットされていない。** → 3章の「ホッパーに用紙をセットする」（46ページ）または「手差しトレーに用紙をセットする」（47ページ）を参照して、用紙を正しく送れるようにガイドをセットしてください。

ディスプレイ		アラームの内容と処理方法
表示	照明	
（続き） ホッパ゜　A4フツウシ　PE ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2）が表示されます。 セットする用紙のサイズ・種類が表示されます。	赤	**用紙カセットが延びたままセットされている。** →　用紙および用紙カセットを正しくセットし直してください（3章の「ホッパーに用紙をセットする」（46ページ）の手順を参照）。 **メニューモードの用紙サイズ設定（ヨウシサイズセッテイ）で設定している用紙サイズと、標準または増設ホッパーにセットしている用紙サイズ（A4サイズまたはレターサイズ）が異なっている。** →　メニューモードの設定に合わせて、用紙をセットしてください（3 章の「ホッパーに用紙をセットする」（46ページ）を参照）。 用紙をセットした後、［印刷可］スイッチを押すと印刷が再開されます*。1秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は自動的に印刷が再開されます。 *　用紙をセットし直さずに［印刷可］スイッチを押した場合は、現在セットされている用紙で印刷されます。この場合、印刷終了後、自動的にメニューモードの設定は現在セットされている用紙サイズに変更されます。 **プリンタードライバーで指定した用紙と、実際に標準または増設ホッパーにセットされている用紙のサイズまたは種類が異なっている。** →　プリンタードライバーで指定した用紙サイズの用紙をセットしてください（3章の「ホッパーに用紙をセットする」（46ページ）を参照）。用紙をセット後、［印刷可］スイッチを押すと印刷が再開されます。1秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は自動的に印刷が再開されます。
テサシ　A4フツウシ　セット セットする用紙のサイズ・種類が表示されます。	赤	**用紙がなくなった、またはセットされていない。** →　3章の「手差しトレーに用紙をセットする」（47ページ）を参照して用紙をセットしてください。 用紙をセットした後、［印刷可］スイッチを押すと印刷が再開されます。1秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は自動的に印刷が再開されます。
ホッパ゜1　2ヨウシカセットナシ ホッパーが増設されているときは、ホッパー番号（1、2）が表示されます。	赤	**用紙カセットが抜かれている。** →　用紙を正しくセットし、ディスプレイに表示された用紙カセットをゆっくりと戻してください。
72　カバ゛ーオープ゜ン ⇕ ホンタイ リアカバー（定着ユニット側）が開いているときは「テイチャク」と表示されます。	赤	**本体カバーまたはリアカバーが開いている。** →　本体カバーまたはリアカバーをきちんと閉じて、［印刷可］スイッチを押すとアラームが解除されます。カバーを閉じた後、1秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は、自動的にアラームが解除されます。
74　カミツ゛マリ ⇕ ホンタイ　リョウメン　ハイシ 紙づまりが発生したすべての場所が表示されます。	赤	**紙づまりが発生している。** →　「紙づまりのときは」（80ページ）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズ゛エラー ⇕ リョウメン	赤	**両面印刷できないサイズの用紙で、両面印刷を行った。** →　用紙は片面のみ印刷されて排出されます。用紙が排出された後、［印刷可］スイッチを押すとアラームを解除できます。両面に印刷できる用紙はA4サイズまたはレターサイズの普通紙です。
76　トナーナシ ⇕ トナーカートリッシ゛コウカン	赤	**トナーカートリッジの交換時期を示している。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）を参照してください。
77　テイキホシュ ⇕ テイチャクキ 交換が必要な部品名が表示されます。	赤	**定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期を示している。** →　販売店または保守サービス窓口にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。アラームは定期保守（部品の交換）が行われるまで、電源をONにするたびに表示されます。お早めに定期保守を行ってください。

ディスプレイ		アラームの内容と処理方法
表示	照明	
78 ヨウシピックミス ⇕ ホッパ ピックミスが発生した給紙口が表示されます。	赤	**用紙ピックミスが発生している。** → 「紙づまりのときは」（80ページ）を参照して、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
79 ハイシュツサキキリカエ ⇕ フェイスアップトレー 「フェイスアップトレー」または「スタッカ」と表示されます。	赤	**フェイスアップトレー（リアカバー）を閉じている、または開いている。** → 「フェイスアップトレー」と表示されている場合は、リアカバーを開いてください。「スタッカ」と表示されている場合は、リアカバーを閉じてください。（印刷中にリアカバーを開閉しないでください。紙づまりの原因となります。） **指定した排紙先に対応していない用紙サイズまたは用紙種別で印刷した。** → 3章の「使用できる用紙」（44ページ）を参照して排出先を正しく選択してください。 **両面印刷しようとした。** → リアカバーを開いていると、両面印刷はできません。リアカバーを閉じてください。
80 リョウメンレバー ⇕ A4 「A4」または「LT」と表示されます。	赤	**両面印刷用紙サイズ切り替えレバーが用紙サイズに合った位置にセットされていない。** → ディスプレイの表示に従ってレバーを切り替え*、［印刷可］スイッチを押すとアラームが解除されます。 レバーを切り替えた後、1秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は、自動的にアラームが解除されます。 * 印刷中にレバーを切り替えないでください。紙づまりの原因となります。
84 フォーム オーバー012	赤	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → ［印刷可］スイッチを押してください。アラームの対象となった番号（×××）のフォームデータが読み捨てられます。メモリー容量を確認してください（メモリー容量の確認方法については活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」の「標準装備のメモリーの確認」を参照）。
85 セツゾクエラー ⇕ リョウメンユニット 「リョウメンユニット」または「トナーカートリッジ」と表示されます。	赤	**トナーカートリッジが正しく取り付けられていない（“トナーカートリッジ”と表示されている場合）。** → 1章の「ドラムユニットを取り付ける」（11ページ）の手順に従ってトナーカートリッジをセットし直してください。 この表示が何度も表示される場合は、新しいトナーカートリッジに交換するか、お買い求めの販売店にご連絡ください。トナーカートリッジの購入と回収については4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの回収と購入」（55ページ）を参照してください。 **両面ユニットが正しく取り付けられていない（“リョウメンユニット”と表示されている場合）。** → 両面ユニットを正しく取り付けてください。このアラームは両面印刷指定時に、両面ユニットがないと表示されます。
86 ドラムクリーニング ⇕ ドラムユニット	赤	**ドラムユニットのクリーニングが必要になった。** → 4章の「ドラムユニットの清掃」（61ページ）の手順に従ってドラムユニットを清掃してください。
87 ドラムジュミョウ ⇕ ドラムユニットコウカン	赤	**ドラムユニットが寿命に達した。** → 4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）に従ってドラムユニットを交換してください。ドラムユニットを交換しなくても、［印刷可］スイッチを押してセレクト状態にすれば、少しの間、印刷を続けることはできますが、アラームは解除されません。速やかに交換してください。

ディスプレイ		アラームの内容と処理方法
表示	照明	
89 トナージュミョウ ⇕ トナーカートリッジ コウカン	赤	**ドラムユニットおよびトナーカートリッジが正しく取り付けられていない。** → ドラムユニットがプリンターに正しく取り付けられていることを確認してください。また、トナーカートリッジがドラムユニットに正しく取り付けられていることを確認してください。 **トナーカートリッジの寿命に達した。** → 4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」(55ページ)に従ってトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジを交換しないと、印刷を続けることができません。
XX コールXXX	赤	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。販売店または保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	赤	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームを解除できない場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理を依頼してください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れ、紙づまりなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	印刷例	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき		**用紙が規格に合っていない。** → 「3章 用紙のセット」(43ページ)、活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** → 「3章 用紙のセット」(43ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **手差しトレーの「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** → プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。普通紙の場合は「薄紙」を選択して再印刷してみてください。 **設定濃度が濃すぎる。** → メニューモードまたはプリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **スキャナーウィンドウが汚れている。** → 4章の「ドラムユニットの交換手順」(58ページ)の手順1〜3を参照してドラムユニットを取り出し、手順7に従ってスキャナーウィンドウを清掃してください。清掃が終わったら手順8〜9を参照してドラムユニットを元に戻してください。
用紙が汚れているとき		**用紙が規格に合っていない。** → 「3章 用紙のセット」(43ページ)、活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、確認してください。 **トナーカートリッジまたはドラムユニットが破損している。** → トナーカートリッジを交換してください(4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」(55ページ)参照)。

症　状	印刷例	原因と処理方法
印刷が薄いとき		**トナーがない（［電源/トナー］ランプ赤色表示）。** →　トナーカートリッジの交換時期です。4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）を参照して、トナーカートリッジを交換してください。 **設定濃度が淡すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **手差し給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。薄めの普通紙に印刷するときは、プリンタードライバーの用紙種別で［薄紙］を選択して印刷してみてください。 **トナーセーブモードがONになっている。** →　トナーセーブモードをOFFにしてください（活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」参照）。 **スキャナーウィンドウが汚れている。** →　4章の「ドラムユニットの交換手順」（58ページ）の手順1〜3を参照してドラムユニットを取り出し、手順7に従ってスキャナーウィンドウを清掃してください。清掃が終わったら手順8〜9を参照してドラムユニットを元に戻してください。
真っ黒に印刷されたとき		**トナーカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）を参照して、トナーカートリッジを取り付け直してください。 **ドラムユニットに問題がある。** →　4章の「ドラムユニットの清掃」（61ページ）を参照して、ドラムユニットの青いタブを数回スライドさせてください。 →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）を参照して、新しいトナーカートリッジまたはドラムユニットと交換してください。
文字のグレー印刷ができない		**プリンタードライバーの設定が正しくない。** →　＜Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000＞ プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログボックスを開き、［その他］シートの［文字の表現］で［標準（グレースケール）］が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［フォント］シートの［文字を白黒で印刷する］がチェックされているかどうか確認してください。 チェックされている場合は、チェックを外してください。 ＜Windows NT 4.0＞ プリンタードライバーの［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスを開き、［その他］シートの［文字の表現］で［標準（グレースケール）］が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。
印刷に縦線や横線が入るとき		**ドラムユニットの清掃が必要です。** →　4章の「ドラムユニットの清掃」（61ページ）を参照して、清掃を行ってください。 **ドラムユニットが正しく取り付けられていない。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）を参照して、ドラムユニットを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **ドラムユニットに問題がある。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」（55ページ）を参照して、新しいトナーカートリッジまたはドラムユニットと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき		**転写ローラーが汚れている。** →　数枚テスト印刷をしてください。 重要　転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。

症　状	印刷例	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき		**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章 用紙のセット」(43ページ) を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　「3章 用紙のセット」(43ページ) および活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、確認してください。 →　プリンタードライバーの用紙種別で「厚紙 1」を選択している場合は、「厚紙 2」を選択して再印刷してみてください。 **プリンター内部が結露している可能性がある(冬期など)。** →　電源をONにしたまま30分～1時間放置してから印刷してください。 **トナーカートリッジに問題がある可能性がある。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」(55ページ) を参照して、新しいトナーカートリッジまたはドラムユニットと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき		**ドラムユニットが正しく取り付けられていない。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」(55ページ) を参照して、ドラムユニットを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **ドラムユニットに問題がある。** →　4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの交換」(55ページ) を参照して、新しいドラムユニットと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	―	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** →　切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。
改行量(行の間隔)が2倍になる 1行が2行にわたる 各行の文字が重なって印刷されてしまう 用紙の途中から印刷が始まってしまう	1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷(パーソナルコンピューターの画面コピーなど)を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンタ」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
指でこするとトナーがとれる		**用紙が規格に合っていない。** →　「3章 用紙のセット」(43ページ) および活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、確認してください。 →　プリンタードライバーの用紙種別で「厚紙 1」を選択している場合は、「厚紙 2」を選択して再印刷してみてください。
定着ユニット部で頻繁に紙づまりを起こす	―	**用紙が規格に合っていない。** →　「3章 用紙のセット」(43ページ) および活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、確認してください。 →　プリンタードライバーの用紙種別で「薄紙」を選択して再印刷してください。
再生紙を使用時に頻繁に紙づまりが発生する	―	**再生紙がプリンターに適合していない可能性がある。** →　再生紙の使用については制限があります。お買い求めの販売店または、NEC121コンタクトセンターまでお問い合わせください。NEC121コンタクトセンターの電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

症　状	印刷例	原因と処理方法
約94mmの等間隔で汚れがある	あい おかきくけこ アイウエオカキクケコ AB DEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシ ソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**感光ドラムが汚れている。** →　「4章　感光ドラムの清掃」（62ページ）を参照して清掃してください。 重要　感光ドラムの清掃は印刷品質に影響を及ぼすことがあります。手順を参照して細心の注意を払いながら作業してください。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** →　プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1:、COM1:など）に対して常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** →　お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターの I/F 設定の動作モードを同じ設定にしてください。詳しくは、お使いのコンピューターの説明書をご覧ください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** →　お使いのプリンターを Windows から印刷する場合は、メモリースイッチ 5-1 を ONのままメニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウ コウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 **PrintAgentが正しく動作していない。** →　「PrintAgentを正しく動作させるために」（75ページ）を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（77ページ）を参照してください。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** →　アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** →　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →　活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。
	アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。 →　アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** →　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。

症　状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない （続き）	**使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →　活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** →　プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6WなどのNPDLまたはNPDL（Level2）対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 ＜Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0＞ ［プロパティ］ー［プリンタの設定］シートー［従来互換の印刷範囲］ ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［プロパティ］ー［印刷品質］シートー［従来互換の印刷範囲を使用する］
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　［印刷可］スイッチを押してディスプレイの照明がオレンジ色に変わったら、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンタ」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSの説明書を参照してください。

症　状	原因と処理方法
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（21ページ）を参照して確認してください。 途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　活用マニュアル「技術情報・参考情報が知りたい」を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定で正しいエミュレーションを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** →　プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで「136桁モード」を有効にしてください。
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（77ページ）を参照してください。 →　双方向通信が行えない環境の場合は、プリンターのメモリー容量と、送信されるデータ量を確認する必要があります。詳しくは、活用マニュアルの「便利なプリント機能を使いたい」に記載の「仕分け印刷をしたい」ー「電子ソート機能」をご覧ください。 →　アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（77ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（77ページ）を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。** →　「その他の注意事項」（78ページ）を参照してください。
B5サイズで印刷できない	**プリンタードライバーの用紙サイズ設定が異なっている。** →　Windows Vista、Windows XP、Windows Server 2008、Windows Server 2003、Windows NT 4.0を使用している場合は「用紙サイズ」で「B5(JIS)」を選択してください。
レターサイズで印刷できない	**メニューモードの設定が異なっている。** →　メニューモードの「ヨウシメニュー」の「ヨウシサイズ」を「レター」に設定してください。
オプションが選択できない	**PrintAgentが正しく動作していない。** →　「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（77ページ）および活用マニュアルの「便利なプリント機能を使いたい」の「PrintAgentシステムが起動しないときは」を参照してください。 **PrintAgentをインストールしていない。** →　プリンタードライバーでオプションの設定を行ってください。オプションの設定は［プロパティ］シートで行います。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ ［プロパティ］ー［プリンタの設定］シートー［プリンタの構成］ ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［プロパティ］ー［プリンタの構成］シート **Windows Vista、Windows XP（64ビット版）、Windows Server 2008、Windows Server 2003（64ビット版）を使用している。** →　プリンタードライバーでオプションの設定を行ってください。オプションの設定は［プロパティ］シートで行います。 ［プロパティ］ー［プリンタの設定］シートー［プリンタの構成］

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANインターフェースでプリンターがネットワークに接続されている。（オプションのマルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）で接続されている場合は利用できません。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。
  詳しくはOSの説明書をご覧ください。

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSの説明書をご覧ください。

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ［PrintAgentセットアップ］のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウエアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、［Administrators］または［DomainAdmins］グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentをインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で［プリンタの追加ウィザード］より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに［プリンタの追加ウィザード］でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、［現在のドライバを使う（推奨）］ではなく、［新しいドライバに置き換える］を選択してインストールしてください。

- Windows XP、Windows Server 2003の場合は［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。
  * フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを使用してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は［コンピュータの管理者］およびAdministrators権限のある方が変更できます。
［共有プリンタを利用する］、［共有プリンタを提供する］は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、［PrintAgentのプロパティ］で［共有プリンタを利用する］のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。
- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合
    これらを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- **コンピューターの処理能力が十分でない**
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentの利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で［PrintAgentのプロパティ］の［共有プリンタを利用する］のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で［PrintAgentのプロパティ］の［共有プリンタを提供する］のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、プリンターの［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は［プリンタのプロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［デバイスプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷する場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。
- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は［PrintAgentのプロパティ］の設定の［共有プリンタを利用する］のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。

- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。(Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)
- Windows XPにService Pack 2以降を適用しているコンピューターでは、添付のプリンタソフトウエアCD-ROMにある「設定ツール」を使って設定を変更しないと正しく機能しない場合があります。
「設定ツール」に関する詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMにある「README.TXT」および「INSTALL.TXT」を参照してください。それぞれのテキストファイルは次の場所にあります。
  - PrintAgentに関する情報 ....[CD-ROMドライブ名]:¥XPSP2¥PA_UPDAT
  - MultiWriterドライバ配信機能に関する情報 ....[CD-ROMドライブ名]:¥XPSP2¥DU_UPDAT

上記の「設定ツール」はWindowsのセキュリティ機能に関する設定を変更します。設定にあたっては、テキストファイルにある説明をよく読み、システム管理者と十分相談した上で操作してください。

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

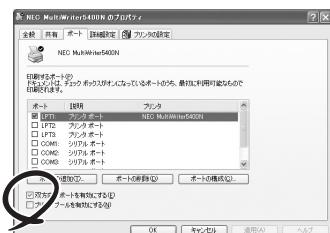
PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

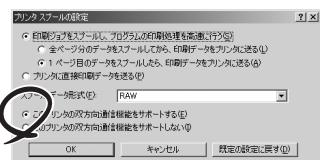
- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレルインターフェース接続	USBインターフェース接続	LAN 接続
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

* Windows 98とWindows 95には対応していません。

- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。この場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。
- ネットワークオプションのマルチプロトコルLANアダプタ(型番:PR-NPX-05)はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

[プロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] をチェックする。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

[プロパティ] ダイアログボックスの [詳細] ー [スプールの設定] ー [このプリンタの双方向通信機能をサポートする] (Windows 98、Windows 95の場合は [このプリンタで双方向通信機能をサポートする]) を選択する。

<Windows NT 4.0の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスで［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は［プリンタのプロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［デバイスプロパティ］の［ポート］−［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。［プリンタプールを有効にする］をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、標準装備のLANインターフェースやLANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentは、Windows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Service、Windows Server 2003（リモートデスクトップによる接続を含む）を実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、これらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  － Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー .... ¥MW5400N¥WIN2KTS
  － Windows NT 4.0対応プリンタードライバー... ¥MW5400N¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、活用マニュアルの「ネットワークに接続するには？」の「Step 3　接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行なうこともできます。
- PrintAgentをインストールする時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの説明書または各OSのヘルプなどを参照してください。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付の説明書をご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには活用マニュアルの「プリンターの操作パネルで各種設定を変更するには？」を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」（36ページ）、2章の「PrintAgentの追加・削除」（37ページ）の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows NT 3.51用のPrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows NT 3.51からWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

✔チェック

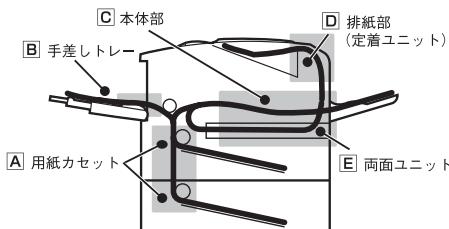
- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には「PrintAgent Eraser」をWindows 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずに、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。
「PrintAgent Eraser」は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥PAERASER¥README.TXT」をご覧ください。
- Web PrintAgentは、Windows Server 2003へのアップグレード時に停止されます。アップグレード後、インターネット インフォメーション サービス（IIS）のWebサイトを再び開始してください。

- PrintAgentはWindows Vista、Windows Server 2008に対応していません（加えて、Windows XP（64ビット版）、Windows Server 2003（64ビット版）にも対応していません）。
Windows XPからWindows VistaまたはWindows Server 2003からWindows Server 2008へアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからアップグレードを行ってください。PrintAgentをアンインストールせずにアップグレードを行った場合は、活用マニュアルの「技術情報」－「PrintAgentの削除」を参照してアンインストールを行ってください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルのディスプレイの照明が赤に変わり、ディスプレイに“74　カミヅマリ”、または“78　ヨウシピックミス”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態（印刷できない状態）になります。ディスプレイにはメッセージが交互に表示され、紙づまりまたはピックミス（用紙給紙ミス）が発生した箇所が表示されます。

紙づまりの発生箇所

A～Eで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。ディスプレイに表示された発生箇所に応じて、紙づまりまたはピックミスの処理をしてください。

ピックミス（用紙給紙ミス）の処理

⚠注意　定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

発生箇所（A、B）に応じて、ピックミス（用紙給紙ミス）の処理をしてください。

✔チェック

- 給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。
- 用紙を取り除いた後もピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（86ページ）を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。
- 給紙できなかった用紙は、ここで説明する手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります

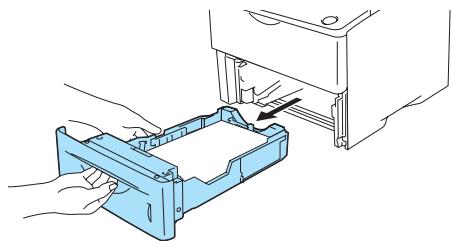
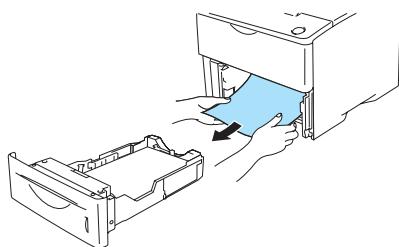
A　用紙カセットのピックミス　78 ヨウシピックミス ⇔ ホッパ

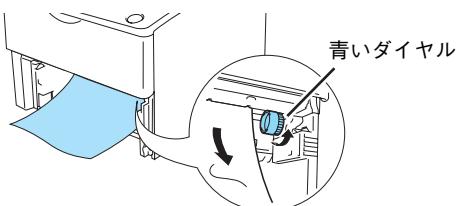
用紙カセットでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。**

❷ **プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。**

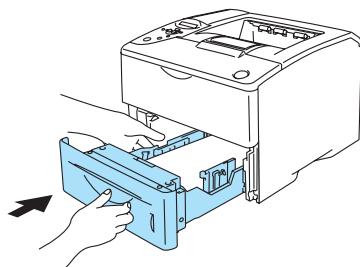
重要

用紙カセットを取り外すときは、両手で持ち、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

❸ **給紙されなかった用紙を、両手でゆっくりと引き抜く。**

用紙が取り出しにくかったり、紙片がはさまって残ってしまったりした場合は、下図のように青いダイヤルを回して用紙を手前に送り出してから、取り除いてください。

給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り除いて、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❹ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認する。**

用紙のセットについては、「3章 用紙のセット」（43ページ）を参照してください。

❺ **用紙カセットを取り付ける。**

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

❻ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

印刷が開始されます。用紙カセットをセットしたあと、１秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は自動的に印刷が再開されます。

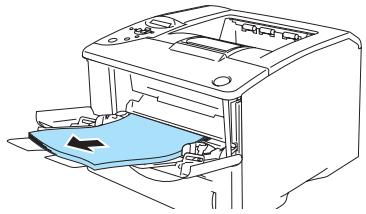
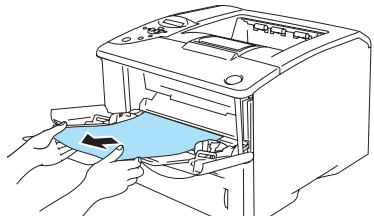
B 手差しトレーのピックミス

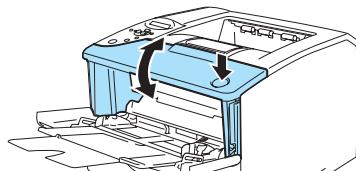
78 ヨウシピックミス ⇔ テサシ

手差しトレーでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。**

❷ **プリンターの電源をONにしたまま、手差しにセットされている用紙をすべて取り除く。**

給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❸ **給紙されなかった用紙を両手でゆっくりと引き抜く。**

❹ **本体カバーボタンを押し、本体カバーをいったん開いてから、再び閉じる。**

本体カバーを閉じると自動的に印刷が再開されます。

❺ **用紙のセット方法およびセットした用紙の種類が正しいか確認して、手差しトレーに用紙をセットする。**

正しい用紙のセット方法は、「3章 用紙のセット」(43ページ)を参照してください。

紙づまりの処理

発生箇所(C、D、E)に応じて、紙づまりの処理をしてください。

- つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」(86ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。
- つまった用紙は、本書の手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

C 本体部の紙づまり

74 カミヅ マリ ⇔ ホンタイ

本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

⚠注意 定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

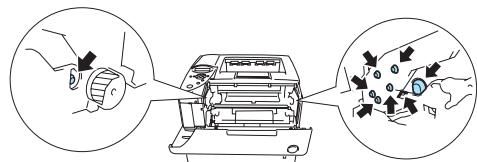
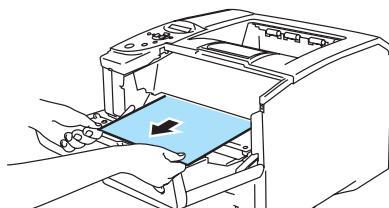
取り外したドラムユニットに強い光が当たるような場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま、本体カバーボタンを押して本体カバーを開ける。**

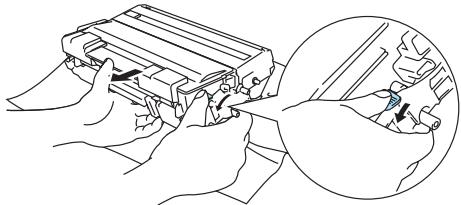
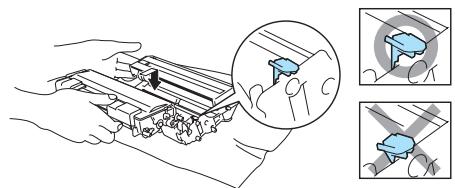
❷ ドラムユニットを取り出す。

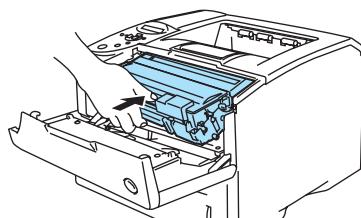
ドラムユニットは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

✔チェック

- トナーがこぼれた場合に備え、床やテーブルなどを汚さないよう、取り出したドラムユニットは、不要な用紙や布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によるプリンターの故障をさけるため、図に示した電気機構部分には触れないでください。

❸ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

用紙を引き抜いた結果、破れていたら手順❹へ進んでください。用紙が破れていない場合は、手順❺へ進んでください

❹ ドラムユニットのレバーを押さえながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す。

① ドラムユニットとトナーカートリッジの間やすき間に紙片がつまっていたら取り除く。

② トナーカートリッジをドラムユニットに「カチッ」と音がするように取り付ける。

❺ ドラムユニットをプリンターにセットして、本体カバーをゆっくりと閉じる。

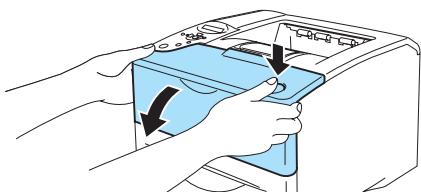
つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。

D 排紙部の紙づまり

74 カミヅマリ ⇔ ハイシ

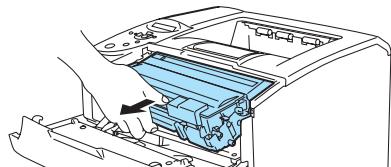
排紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

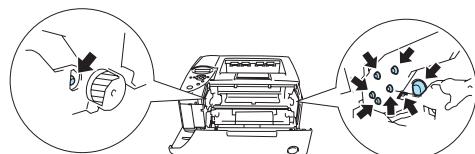
定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

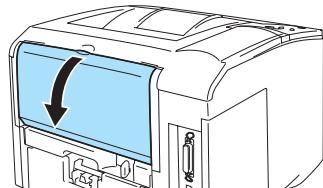
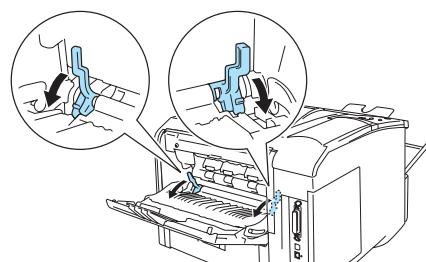
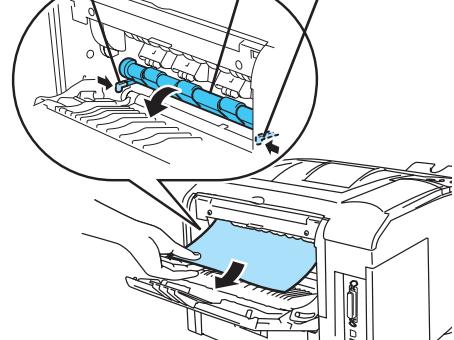
重要

取り外したドラムユニットに強い光が当たるような場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま、本体カバーボタンを押して本体カバーを開ける。**

❷ **ドラムユニットを取り出す。**

ドラムユニットは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

チェック

- トナーがこぼれた場合に備え、床やテーブルなどを汚さないよう、取り出したドラムユニットは、不要な用紙や布の上に置くことをお勧めします。
- 静電気によるプリンターの故障をさけるため、図に示す電気機構部分には触れないでください。

❸ **プリンター前面から見て内部につまった用紙があれば、両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。**

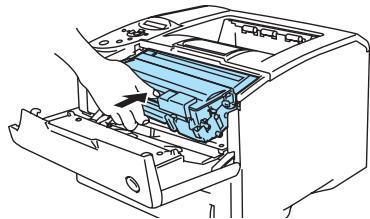
❹ **リアカバー（フェイスアップトレー）を開く。**

❺ **背面にある2つの青いレバーを倒す。**

❻ **左右のレバーを内側に軽く押しながら定着カバーを最後まで開き、つまった用紙を引き出す。**

重要

定着カバーを下に突き当たるまで開き、用紙を引き出してください。

❼ **定着カバーを閉じる。**

❽ **リアカバー（フェイスアップトレー）を閉じる。**

❾ **ドラムユニットをプリンターにセットして、本体カバーをゆっくりと閉じる。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。

E 両面ユニットの紙づまり

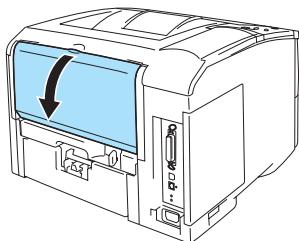
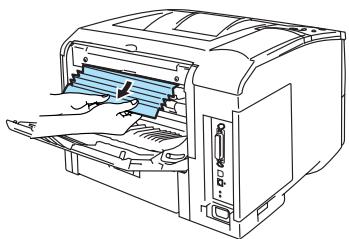
74 カミヅ゛マリ ⇔ リョウメン

両面部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

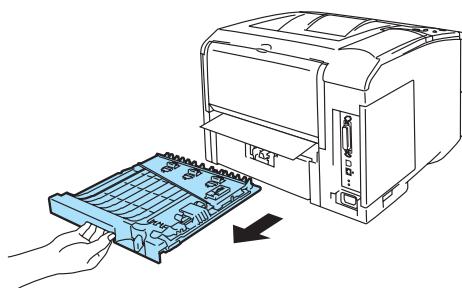
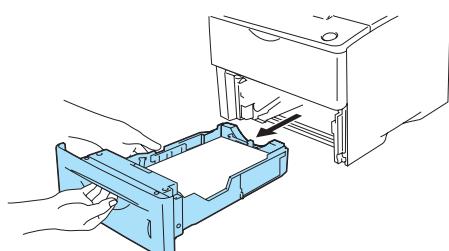
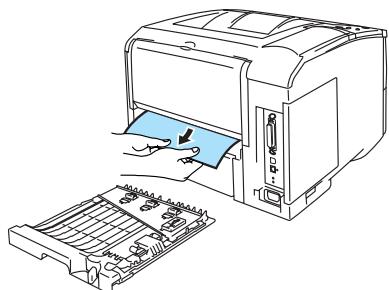
注意　定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

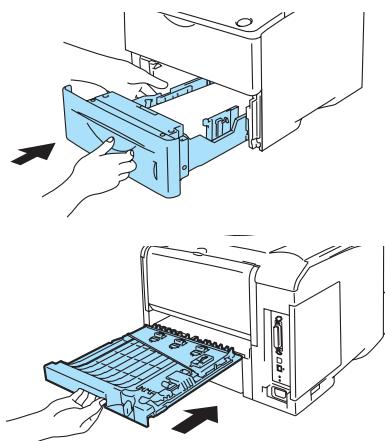
チェック

- 両面印刷を行えるのは、普通紙の A4 サイズかレターサイズです。その他の用紙で両面印刷することはできません。
- 両面印刷時、フェイスアップトレーに排紙することはできません。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま、リアカバー（フェイスアップトレー）を開く。**

❷ **定着ユニット周辺からつまった用紙を両手で持ち、ゆっくり引き抜いて取り除く。**

❸ **リアカバー（フェイスアップトレー）を閉じる。**

紙づまりが解決されない場合は、次の手順に進みます。

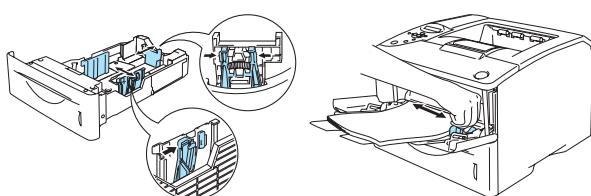
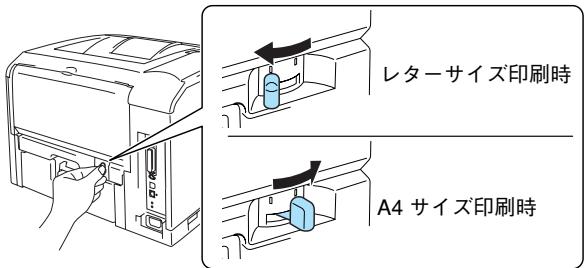
❹ **用紙カセットと両面ユニットを引き抜く。**

❺ **つまった用紙を両手で持ち、ゆっくりと引き抜いて取り除く。**

❻ **用紙カセットと両面ユニットをプリンターにセットする。**

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

❼ **操作パネルの［印刷可］スイッチを押す。**

印刷が開始されます。用紙カセットをセットしたあと、１秒以上［印刷可］スイッチを押さない場合は自動的に印刷が再開されます。

ピックミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。確認後、1章の「テスト印刷をする」（15ページ）の手順に従って印刷が正しく行われることを確認してください。（紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。）

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」の「用紙規格」に記載されている事柄は守られていますか。
- □ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイドおよびサイドガイドの最大積載表示（▽）以下にセットされていますか。（坪量60～80g/m^{2}の普通紙で、標準ホッパーの容量は約500枚です。）
- □ 一度印刷した用紙や、プレ印刷用紙（すでに罫線などが印刷されている用紙）を使用していませんか。
- □ 本体カバー、リアカバー（フェイスアップトレー）は確実に閉じられていますか。
- □ 標準または増設カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 手差しトレー、標準または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

□　両面印刷用紙サイズ切り替えレバーは用紙サイズに合った位置にセットされていますか。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、トナーカートリッジとドラムユニットの交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の65ページ～74ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。
なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

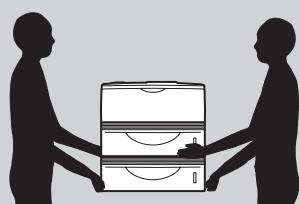
また、プリンターをお持ち込みいただくときは、本書の87 ページや梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。詳しくは、「プリンターを運搬するときは」（87ページ）を参照してください。

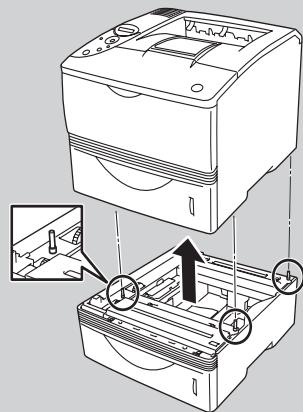
プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

⚠ **注意**

- プリンターの質量は約18.9kgです（オプション品、ドラムユニット、トナーカートリッジ、および用紙を除く）。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。必ず2人以上で持ち運んでください。また、プリンターの重心は前面にあるため、前面側へ倒れないように注意して持ち運んでください。
- 増設ホッパーを設置した状態でプリンターを移動する場合は、事前に各カセットから用紙を取り出しておいてください。そして2人以上で増設ホッパーの左右の取っ手を持ち、プリンター本体の前後をしっかりと支えて運んでください。傾けすぎて増設ホッパーからプリンターが外れないように注意してください。プリンター本体の前後を支えないとプリンターの落下などにより、けがや製品および周囲のものを破損するおそれがあります。

（次ページへ続く）

⚠注意

- 増設ホッパーから切り離してプリンター本体のみを持ち上げる場合は、必ず2人以上でプリンター左右の取っ手を持ち、プリンター本体の前後をしっかり支え、まっすぐゆっくりと持ち上げください。この時、プリンター本体が増設ホッパーのピンから完全に外れていることを確認してください。ピンから外れないまま引きずると増設ホッパーの落下などにより、けがや製品および周囲のものを破損するそれがあります。

❶ 付属品および消耗品（ドラムユニット、トナーカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。

「1章 プリンターの設置」（7ページ）を参照してください。

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

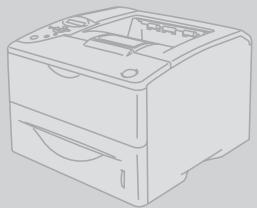
❷ オプションを取り付けている場合は、各オプションの説明書か、活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」を参照して取り外す。

❸ 購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジおよびドラムユニットを取り外してお出しください。
- NEC製トナーカートリッジおよびドラムユニットは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製トナーカートリッジおよびドラムユニットは捨てずに、トナーカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はトナーカートリッジおよびドラムユニットの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、4章の「ドラムユニット・トナーカートリッジの回収と購入」（55ページ）を参照してください。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収またはリサイクルにお出しください。

付録

仕様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：半導体レーザービーム走査 現像方式：乾式非磁性トナー（1成分方式）
印刷速度（A4サイズ縦置き、ホッパー給紙片面印刷時）	約24ページ/分
ウォームアップの待ち時間（室温23℃）	電源投入時： 37秒以下 節電時： 25秒以下
ファーストプリントタイム	12秒以下
用紙容量（坪量64g/m²の普通紙の場合）	標準ホッパー： 500枚、手差し：100枚、増設ホッパー：500枚
スタック容量（坪量64g/m²の普通紙の場合）	スタッカー： 250枚（フェイスダウン） フェイスアップトレー :50枚
印刷可能用紙サイズ*1	A4、A5、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒、定形外用紙
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
CPU	RM5231A（200MHz）
メモリー	標準152MB
インターフェース	IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース（背面に1つ装備）、イーサネット（100BASE-TX/10BASE-Tを背面に1つ装備）、USB2.0に準拠*2（背面に1つ装備）
環境	動作温度： 10～32.5℃、動作湿度：20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度： 0～40℃、保管湿度：35～85%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量 ： 一般事務室程度 ガス成分： 一般事務室程度 気 圧 ： 1013 ～ 752.4hPa（海抜0～2500m）

*1 詳細は、活用マニュアルの「技術情報・参考情報が知りたい」をご覧ください。
*2 USB インターフェースは、すべての USB 対応機器について動作を保証するものではありません

付録

項目		内容
騒音 （音圧レベル、A補正）		動作時：52dB以下 待機時：39dB以下
電源		電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz
消費電力[*1]	動作時最大[*2]	プリンター単体時：810W以下（820VA以下） フルオプション時：820W以下（830VA以下）
	動作時平均	プリンター単体時：540W以下
	節電モード時	9W以下（節電モードON[*3]：工場出荷時）
外形寸法		392（幅）x 425（奥行き）x 312mm（高さ）
質量		約18.9kg（ドラムユニット、トナーカートリッジ、オプション含まず） 約20.7kg（ドラムユニット、トナーカートリッジ含む、オプション含まず）
製品寿命[*4]		印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命		トナーカートリッジ（本体添付）：約7,500枚（印刷枚数）（ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時） ドラムユニット（本体添付）：約30,000枚（印刷枚数）（ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）
言語		• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） • ESC/Pエミュレーション • プロッターエミュレーション（HP7550A準拠）
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、OCR-B相当文字[*5]、バーコード[*5、*6]（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、GS1-128（旧称：UCC/EAN-128））
対応OS		• Microsoft Windows Vista 日本語版[*7，*8] • Microsoft Windows XP 日本語版[*7，*8] • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版[*7] • Microsoft Windows 98 日本語版[*9] • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版[*9] • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2008 日本語版[*7，*8] • Microsoft Windows Server 2003 日本語版[*7，*8] • Microsoft Windows 2000 日本語版[*7] • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS （Ver. 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） • Mac OS日本語版[*10]

＊1　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが OFF の状態では電力の消費はありません。

＊2　最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

＊3　節電モードへの移行時間は、工場設定で 1 分に設定されています。

＊4　10 万枚印刷毎に有寿命部品（有償）の交換が必要です。

＊5　OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR 装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。

＊6　MS-DOS などのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

＊7　USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズの USB インターフェース接続には対応していません。

＊8　64 ビット版を含みます。

＊9　USB インターフェース接続には対応していません。

＊10　Mac OS X には対応していません。Mac OS 対応プリンタードライバーは「http://121ware.com/」で提供中です。詳細は、同 Web ページをご覧ください。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社＊1をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

① PrinterSupportPack

プリンタ本体購入時から一定期間（3年/4年/5年）、何度でもオンサイト保守を提供する契約＊2。

② 年間保守契約

年間一定額の料金にて、機械故障時に何度でも保守員を派遣して、修理を行う契約＊2。
契約先、契約料など詳細については、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。

③ スポット保守サービス＊3（保守契約をされていないお客様へのサービス：有料）

- 引き取り修理サービス
- 出張修理サービス

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になります。あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンターの型番　PR-L5400N

NEC PCマニュアルセンター

URL：　http://pcm.mepros.com/
電話：　03-5471-5215
　　　　受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX：　03-5471-3996
　　　　受付時間　24時間（ただし、いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降になります。）

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット 「NEC8番街」 URL：http://nec8.com/
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

付録

＊1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。
＊2　技術料・交通費・交換部品代金を含む。ただし消耗品および規定の寿命に達した有寿命部品（定期交換部品）は有償となります。有寿命部品（定期交換部品）の詳細は、http://nec8.com/care/prchange/ をご覧ください。
＊3　施設により詳細な規定、サービス内容、料金体系、営業日、営業時間などが多少異なりますので、各施設にご確認ください。

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*のマルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置にネットワークオプション*の無線LANプリンタアダプタ（型番：PR-WL-01）を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションの詳細については活用マニュアルの「オプションを取り付け（取り外し）たい」の項目を参照してください。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

プリンターの寿命について

MultiWriter 5400Nの製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。10万枚もしくは15万枚ごとに定期保守が必要です。有寿命部品（有償）は定着ユニット、および給紙ローラー、レーザーユニットです。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

レーザー製品の安全基準について

この装置は、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。本書に記載されている以外の操作や調整および分解は行わないでください。

レーザプリンタ

MultiWriter 5400N

このマニュアルは、リサイクルに配慮して製本されています。
このマニュアルが不要になった際、回収・リサイクルに出しましょう。

LU0966001

Printed in China

NEC